

平成30年度  
学校訪問活動報告書

平成31年4月3日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

— 目 次 —

I. 平成30年度の学校訪問活動を終えて	…	1
II. 平成30年度・学校訪問一覧表	…	2
III. 学校訪問における主な意見交換内容（抜粋）	…	3
V. 海技教育機構との懇談会議事概要	…	4～8
VI. 水産高校生の求職希望に対する情報提供	…	9
VII. 平成30年度・船員対策委員会委員名簿	…	10
（別紙） 学校別訪問結果報告書	…	11～74

## I. 平成30年度の学校訪問活動を終えて

船員対策委員会では、当組合の中期運営指針及び平成30年度事業計画において、船員の高齢化・不足化等の状況に鑑み、若年船員の確保・育成を重要施策に位置付けていることから、本年度も次の目的で学校訪問活動を実施いたしました。

- (1) 船員の高齢化、若年船員の不足状況から、学校との良好な関係づくりの継続
- (2) 学校側に、業界の現状、求人傾向の説明、生徒の求職希望等について情報交換
- (3) 毎年変わる生徒に対し、内航タンカーの役割や船員の仕事等の説明によるPR
- (4) 学校とパイプの無い会社の橋渡しの役割を果たし、採用会社数の底辺を拡大
- (5) 入社後のミスマッチ解消に向け、最近の学生の気質や就職に対する考え方の把握

訪問に当たっては、例年通り、海技教育機構本部との意見交換を行い、各支部の協力を得て、組合員に参加を呼びかけ、**訪問校36校、参加会社延べ226社、参加人数延べ293名**の訪問活動を実施することができました。当初39校の訪問を計画しましたが、スケジュール調整がつかず順延となった学校のほか、広島商船高専は豪雨災害、大島商船高専は連絡橋の事故等の影響で中止せざるを得なかったこともあり、これらを考慮すれば、参加会社数、参加人数からみて、例年以上の活動規模であったと言えるかと思えます。

**海上技術学校及び同短大**は、内タン各社の採用実績が他業種に比べて多く、各社の積極的な採用と訪問活動の継続が着実に業界の底辺拡大に結びついて来た感があります。(平成30年新卒採用**118名**(註))

**水産高校**については、組合員の採用実績がある学校、毎年出前授業の依頼を受けるなど好感触を得ている学校、また、毎年新規校の開拓に努め訪問を実施して来た結果、2年連続で新卒採用実績が学校区分別で**トップ**となりました。(平成30年度新卒採用**132名**(註))

**商船高専**や、将来の陸上管理者としても期待される**商船系大学**については、訪問活動や各社の求人増加を反映して、徐々に内航タンカーを就職対象と考えている生徒が増加して来ています。(前年比:商船高専22名→**21名**、商船系大学9名→**18名**)

この他、関西支部で試みている、不足する機関部員の新規発掘に向けた**工業高校生徒や一般の高校・大学**(平成30年度新卒採用**31名**(註))、も含めて、あらゆる分野から若年者を就職実績につなげていくことが課題かと思えます。

(註:採用数は平成30年度内航タンカー船員実態調査結果による集計値)

組合員の平成31年3月の新卒採用活動については、例年以上に積極的な求人活動が展開されましたが、少子化の現状、陸上での人手不足から、他業種の求人数も増加する等、採用活動に苦戦した組合員もいるやに聞き及んでおります。

このため、平成31年度は、これまでの訪問活動によって作り上げてきた業界と学校の相互理解をさらに深め、訪問結果を当組合の施策に反映し、組合員各社の船員募集活動の一助となるよう継続した活動を展開して行きたいと考えております。今後とも、皆様の活動に対するご理解とご支援をお願いいたします。

訪問活動にあたり、当委員会委員はじめ、各支部より多くの方々のご協力をいただきました。ここに改めてお礼申し上げます。

平成31年4月  
船員対策委員会  
委員長 内藤 吉起

## II. 学校訪問一覧表（平成30年度）

区分	No	地区	訪問校	訪問日	担当支部	訪問実績	
						社数	人数
海技教育機構	1	北海道	小樽海上技術学校	2/19	関東	8	10
	2	岩手	宮古海上技術短期大学校	10/16	関東	11	14
	3	千葉	館山海上技術学校	3/7	関東	7	8
	4	静岡	清水海上技術短期大学校	10/10	関東	10	11
	5	佐賀	唐津海上技術学校	11/13	西部	8	12
	6	長崎	口之津海上技術学校	2/21	西部	8	12
	7	愛媛	波方海上技術短期大学校	11/14	四国	15	20
	8	兵庫	海技大学校(芦屋)	11/15	関西	9	10
水産高校	9	北海道	小樽水産高等学校	2/20	関東	7	9
	10	北海道	函館水産高等学校	12/11	関東	6	8
	11	青森	八戸水産高等学校	12/12	関東	3	4
	12	岩手	宮古水産高等学校	10/16	関東	11	14
	13	宮城	宮城水産高等学校(※)	7/9	関東	3	3
	14	福島	いわき海星高等学校	2/14	関東	6	8
	15	茨城	茨城海洋高等学校	2/15	関東	6	7
	16	千葉	館山総合高等学校	2/20	関東	5	6
	17	神奈川	海洋科学高等学校	12/7	関東	7	8
	18	静岡	焼津水産高等学校	7/12	関東	3	4
	19	愛知	三谷水産高等学校	2/4	東海	6	9
	20	三重	三重水産高等学校(※)	1/16	東海	2	3
	21	富山	滑川高等学校	6/14	関西	3	4
	22	福井	若狭高等学校	7/19	関西	6	7
	23	京都	京都海洋高等学校	7/18	関西	6	8
	24	鳥取	境港総合技術学校	12/21	関西	4	6
	25	島根	隠岐水産高等学校	12/6	関西	5	6
	26	山口	大津緑洋高等学校	1/17	西部	0	1
	27	香川	多度津高等学校	12/11	関西	7	10
	28	愛媛	宇和島水産高等学校(※)	11/30	四国	12	14
	29	高知	高知海洋高等学校	12/12	関西	7	9
	30	大分	大分海洋科学高等学校	11/27	西部	2	3
	31	宮崎	宮崎海洋高等学校	6/19	関西	5	6
	32	鹿児島	鹿児島水産高等学校	12/13	西部	7	11
工業	33	奈良	王寺工業高等学校	6/5	関西	2	3
商船高専	34	富山	富山高等専門学校	6/14	関西	5	6
	35	三重	鳥羽商船高等専門学校	6/4	関西	6	7
	36	愛媛	己削商船高等専門学校	11/12	四国	8	12
36校						226	293

(※)印 地元・船対協等と合同

海上技術学校・同短大	8	76	97
水産高等学校	24	129	168
工業高等学校	1	2	3
商船高等専門学校	3	19	25
商船系大学	0	0	0
計	36	226	293
前年度対比	+1	+49	+64

### Ⅲ. 学校訪問における主な意見交換内容（抜粋）

#### 【 学校側の所見、要望等 】

- (1) 学校訪問等による継続的な業界説明を望む。
- (2) 今年の求人、就職内定状況は好調、今後も継続的な求人を要望。
- (3) 女子船員の求人拡大を望む。
- (4) 離職理由に、乗船期間、休暇が事前の説明と違うとの声もあり、採用間もない頃は、乗船期間や事前説明で配慮願いたい。
- (5) 最近の学生は、気質や好み環境が、昔と変化して来ていることを理解して採用して欲しい。
- (6) 乗船実習の下船時に応じて面接・試験日の選定等、会社側の配慮を望む。
- (7) インターンシップやタンカー船見学の機会が欲しい。

#### 【 内タン訪問者の所見等 】

- (1) 学校との継続的な関係の構築が必要。
- (2) 内航タンカーの業界自体が認知されていない学校もあり、地道なPRが必要。
- (3) 生徒への説明は、学校によって簡易な内容と専門的な内容を使い分ける必要あり。
- (4) 学校の先生自身にも、内航タンカーを知ってもらうための説明が必要。
- (5) 採用活動と同時に離職防止や業界内つなぎ止め方策の検討が必要。
- (6) 最近の学生はWi-Fi環境を重視する等、若者の気質や船内での過ごし方の変化を理解することが必要。

#### 【 生徒からの主な質問 】

- (1) 内航タンカー船員の仕事(荷役、航海、危険性、新人船員の研修等)
- (2) 内航タンカー船員の労働条件(給料、休暇、船内生活、賄い、陸上勤務の有無等)
- (3) 企業が求める人材(性格、年齢制限、海技免状種類、他の資格、女子船員の採用等)
- (4) 業界の将来(原発・火力等のエネルギー事情、船腹の需給、省エネへの取組み等)

## IV. 海技教育機構との懇談会議事概要

日 時 : 平成30年7月31日(木)13:00~14:55

場 所 : 海技教育機構会議室(横浜第二合同庁舎)

出席者 :

(機構11名)

野崎理事長、村松理事、多門理事、船津審議役、飯島航海訓練部長、富田企画調整部次長、田村航海訓練部次長、南屋実習訓練課長、鶴田教務課長、遠藤募集就職課長、仲里募集就職係員

(内タン14名)

内藤委員長(邦洋海運(株))、前川(旭タンカー(株))、木下(鶴見サンマリン(株))、鳴村(浪速タンカー(株))、松浦(幸福船舶(株))、三谷(三谷海運(株))、阿部(網霧島海運商会)、庭瀬(明神海運(株))、松波(網辰巳商会)各委員、佐藤代理桐山(上野トランスラック(株))、北代理川橋(甲子汽船(株))、古川、淵、日次(事務局)

懇談会要旨 :

- ・内藤委員長より、毎年110~120名の多数の内航タンカー船員を輩出頂くことへの謝意を述べ、本日は、海技教育の見直しの方向性、業界の船員問題、特に、大型船と小型船船主により抱える船員問題の違い等、意見交換により相互理解を図っていきたく旨、また、本年度も学校訪問により継続した活動を実施するので、各社の活発な船員募集 活動に協力願いたき旨挨拶がなされた。
- ・野崎理事長より、学生や教官の体験乗船と社船実習、進路の参考になる学校訪問、内航タンカー各社の多数の採用実績(本年4月の内定者は121名、就職希望者の約32%、本年7月現在の求人も81社374名と好調)、多岐に亘ってのご協力を謝意を述べ、また、航海訓練所との統合後3年目に入り、海洋立国を支える重要な船員養成機関としての自覚を持って運営していくので、内航タンカー業界とも引き続き良好な関係を維持していきたく旨、また、昨年は実習生の事故が相次ぎ業界にご心配をかけ、第三者委員会の指摘 を真摯に受け止め対応していきたく旨挨拶がなされた。

### 1. 内航タンカーの現況報告

事務局より、次の通り報告。

#### (1) 組合の現況(平成30年3月末現在)

- ・組合員数540社、登録船905隻、890千G/T、1,642千t<sup>3</sup>
- ・全国に7つの支部、職員数計14名
- ・組織は、総会、理事会、運営会議の他、常設の委員会6、荷主との連絡会2
- その他、安定・効率輸送対策会議を新設(国交省の安定・効率輸送協議会対応)

#### (2) 輸送量(平成25~29年度)

- ・白 油 … 5年間の増減幅は少ないが、省エネ進展等で今後は減少見込み
- ・黒 油 … 東日本震災後の一時期石油火力増強も以後、5年間で30%減少
- ・ケミカル… 漸減傾向であったが、直近2年間は原料安、輸出増等で増加

・特タン … 5年間はほぼ横ばい、但し品目別では各年、増減幅は大きい

### (3) 船腹量(平成25～29年度)

・白油船 … 5年間で隻数は14隻減少、船腹量は1.4万m<sup>3</sup>増加(大型化)

・黒油船 … 5年間で隻数は18隻減少、船腹量は3.4万m<sup>3</sup>減少

・ケミカル船 … 5年間で隻数は6隻減少、船腹量は増減なし(小型船減)

・特タン船 … 5年間で隻数は20隻減少、船腹量は1.6万m<sup>3</sup>減少

### (4) 船齢区分(平成30年3月現在)

・バブル期の大量建造船が20～25才となったが、特に小型船の代替が鈍化

・平均船齢は14.4才、船齢15年以上が49%と高齢化が進展

### (5) 内航タンカー船員実態

・平成29年10月現在、調査回収率78.1%の実態調査による、内航タンカー船員の平均年齢47.4才、50才以上52%と高齢化

・各社新卒採用の増加から30才未満割合は19%と徐々に増加

・推計船員数合計は約9,000名

・内タン各社の新卒採用数は5年間で毎年増加(H25・235名→H29・292名)

・海技教育機構卒業生の採用数は毎年100名以上も、他の機関を含めた全体の採用比率では漸減傾向(H25・140名=60%→H29・111名=38%)

### (6) 平成29年度学校訪問実績

・20年度より支部毎にチームを組み、海技教育機構、水産高校等を訪問

・29年度は、海技教育機構8校、水産高校21校、工業高校1校、商船高専5校、計35校を訪問

・30年度も前年度以上の校数訪問を計画、現在順次実施中

## 2. 機構の現況報告

事務局より、次の通り報告。

### (1) 入学・卒業状況

・入学定員 … 海技学校4校・定員140名、短大3校・定員250名、計390名

・30年度応募 … 海技学校1.6倍(前年1.6倍)、短大2.4倍(前年2.5倍)

・31年3月卒業予定者 … 海技学校135、短大240、海技大学29、計404名

### (2) 海技試験合格率(29年度)

・4級航・機両用…海技学校89%、短大99%、3級専修…海技大学100%

### (3) 求人・就職状況(海技学校、短大、海技大学)

・毎年350名前後の海上就職希望に対し海上求人は、25年度788名、29年度1,232名と5年間で約1.6倍、30年度も現時点で前年並み

・内、タンカー会社の求人は、25年度254名、29年度345名と5年で1.4倍

・タンカー会社への就職は、25年度126名、29年度121名とほぼ横ばい

### (4) 求人受付

・海技学校の30年度求人受付は6月1日、短大、海大は3月1日

・乗船実習期間が学校毎で若干の違いがあり、面接・試験等の配慮希望

### (5) 航海訓練関係報告

・平成31年1月より、4級海技士カリキュラムが改訂され、時間配分等変更

### 3. 質疑応答、意見交換

(内タン)海技上国家試験合格率の片方合格の数値について教えていただきたい。

(機 構)統計は取っているが、手元に資料がなく後刻資料を提示したいが、少なからずほぼ全員片方は合格している。(後日提供データ:平成29年度海技士国家試験両方不合格者:海技短大:0名(総受験者240名中)、海技学校:3名(総受験者98名中))

(内タン)船社数や船舶数の減少により相対的に荷物も減少するが、船員の高齢化などによる船員不足が懸念されている。その中で、定着率を上げる為にはお互いどのような取り組みが必要か意見を聞きたい。

(機 構)定着率が低いことは、内タンだけではなく内航全体の問題であり、平均7年程で他社に転職しているというデータがある。理由としてはキャリアパスへの不安が大きく、中小船社においてはキャリアパスの明確性が重要なのではないかと。

(内タン)卒業生は基本的に職員を目指しているということか。当社でも入社後のキャリアパスに対するギャップが大きいように感じる。

(機 構)四級の資格教育を行っていることから職員教育を行っている。学校でもある程度説明は行っており、求人票への記載や社船実習等ギャップ回避の努力等が必要。機構の生徒学生にも部員でよいと考える者もいるが基本的には職員志望が多い。採用時は部員であることも理解している。その他、部員採用であれば、機構の生徒と いうよりは他の組織に需要があるのではないかと。

(内タン)STCW条約の基本訓練(消火訓練や救命訓練)がカリキュラムに組み込まれているか。

(機 構)学校のカリキュラムの中で、消火訓練や練習船からの飛び込み等を行っているが、現職船員に行っているようなフルスペックな訓練ではなく、あくまでも免許講習の範囲。

(内タン)これからは内航でもフルスペックが求められる。機構改革で甲機両用取得ではなく片方のみになるのであれば、その分現職船員への訓練等を強化することについてはどうか。

(機 構)現職船員への基本訓練実施となると、機構職員のみで行える範囲は限られているので、民間企業等とのコラボレーションも活用して講習を行っている。今後の機構の改革の中では、海大以外の学校のリソースを用いた現職船員への訓練等の検討を行っている。経営的な面もあり、設備投資等問題はあるが、需要が継続的に見込めれば実施可能なのではないかと。

(内タン)2013～2016年までに短大メインに採用したが、約75%が離職。社内ルールでC/O等への昇進には「三級海技士以上」必須としているが、離職者に聞くと「働きながらの上級免状取得は難しい」との回答だった為、上級免状が取得出来ないことが理由で辞めたことが分かった。よって、今年の求人に予め「三級海技士優遇」と記載したが応募者無し。タンカーの場合キャリアアップに関する内情が隠れている会社が多いと感じ、事前に提示することでミスマッチ解消に繋がるのではないかと。

(機 構)在学中に上級の筆記を取得する学生は多くおり、清水校の航海では3割の学生が三級筆記に合格している。求人票には出来るだけ詳細に記載いただくことで相互のミスマッチを防ぐことに繋がるのではないかと。

(内タン)当社は小型(99)のケミカル船で、新卒の学生を育成することが困難な状況である為、新卒者の採用が難しい。仮に採用したとしても下積みからとなり、3～6ヶ月で離職してしまう。そこで、採用後は一度大きい社船で育成し経験を積み小型船へ戻す取り組みも必要なのでは。勉学は苦手だが元気な学生の方が長続きしやすいが、現在の学生状況についてお聞きしたい。また、学生には「給料を頂いている」という認識を持たせてほしい。

(機 構)今の学生について、素行は良いが精神的におとなしい子が多い。オープンキャンパス等で、ミスマッチを防ぐために学校のアドミッションポリシーを提示している。



(内タン)メンタルケアについては、学校側だけに任せるのではなく入社後に船社側も取り組まなければならない。また、社船実習やインターンシップ等でお互いのミスマッチを防ぐような取り組みを企業側も行う必要がある。

(内タン)募集就職課資料内の応募倍率については各校まとめた数値となっているが、九州方面の学校では応募者が少なくなっていると聞いており実際はどうなのか。色々な学校へ学校訪問を行っており、水産高校本科や一般高校の生徒へ海上技術短期大学校への入学を勧めているが問題は無いのか。

(機 構)北と南の学校については応募者が減っており、今の学生は周辺環境や交通の利便性を優先して学校を選択している傾向である。少子化等の影響で徐々に右肩下がりではあるが、今年度のオープンキャンパス参加者は昨年並みとなっており、受験者も昨年並みだと考えている。また、学校のPRはありがたい、どんどん勧めて頂きたい。

(内タン)応募倍率について、次回からは各校別数値(定員と倍率等)をいただきたい。航海訓練部からの資料について、「地文航海諸計算」の内容が「削除」と記載があるが、どのような意味か。

(機 構)地文航海の計算方法については学校で行っているのでは、練習船で行わないこととした。

(内タン)海上技術短期大学校の学生について、AO入試などでは学力の高い方を合格としているのか。年齢層、社会人の数について教えていただきたい。

(機 構)資料の応募倍率については複数受験者も入っており、実際にはさらに低い数値である。推薦入試の場合、学力試験だけではなく面接や提出書類など、総合的に判断して合格を決めており成績一辺倒ではない。高校を出て入学する者がほとんどであるが、約3割の学生は社会人を経て入学しており、学校によって差はあるが5~10%は30代もいる。年齢が高くてもやる気があり優秀であれば合格としている。

(内タン)当社は小型船のオーナーであるが、他の船員の休暇代替員となるような即戦力を求めている為、今まで機構へ求人を出したことは無い。しかし、現役船員でも中々見つからない状況であるので、今後は機構や他の水産高校等へ求人を出し新卒を育てていかなければならないと考える。学校では小型船より大型船を推奨した指導を行うことはあるのか。

(機 構)頂いた求人については全て平等に扱い、優劣のある指導や助言は行っていない。ただ、先輩が入社した前例のある船社の情報などに生徒は敏感であり、毎年採用実績が続く傾向にある。

(内タン)募集就職課資料内P10に「推薦」とあるが、生徒に対して学校から船社の指定をするということなのか。

(機 構)そうではない。船社を選ぶのは生徒・学生本人だが、応募書類の一つとして船社宛へ学校長の推薦書を付けるということで「推薦」と記載している。

(内タン)平成30年度の就職日程等については受付等既に始まっているので、これから出すとなると平成32年卒業以降の生徒対象となるのか。

(内タン)来春卒業の生徒対象としてこれから求人を出しても遅くはなく、第一希望の船社に落ちた学生が第二希望の船社を受ける場合もあるので、会社自体でトライをしていくことが重要である。

(内タン)当社はグループ全体で100隻以上保有しており、小型船の船員確保が問題となっている。理由としては「船室が無い」「教えるノウハウが無い」等が挙げられ、その中でどのように船員を引き込んでいくのが課題となっており、効果的な方策を教えてください。

(機 構)会社の規模によってターゲットや人の育て方は違ってくると感じる。良い方策等があればお伝えしたいが、国との関係や様々な意見等もあり現時点では回答が難しい。

(内タン)各学校内で女性の割合はどれくらいか教えてください。

(機 構) 定員が一番多い清水校は1割程度である。その他の学校においては非常に少なく、女子寮が無い学校については通学可能な女子生徒のみ受け入れている。

(内タン) 募集活動で女子学生と話した際に、内航船で女性船員を採用することに驚かれるので、学校側も内航船(タンカー)で女性船員を採用する会社もあるということを周知していただきたい。

(機 構) 女子生徒の就職は非常に難しく、少ない会社に集中してしまい、かなりの採用倍率となる為、とても助かる情報である。

(内タン) 当社は小型船を扱っているが、資料内のタンカー会社の求人数に小型船の割合はどのくらいなのか。一昨年、三重水産高校で採用実績があり、その後継続的に採用があるが何年程続いていくものなのか。三重水産高校では就職担当の先生からの会社情報により応募を行う学生がいるようだ。

(機 構) タンカー業界からの求人内における小型船割合について詳細は後刻集計の上お知らせしたいが、小型船保有でも求人を頂く会社はある。今の学生はSNS等で繋がっており、容易に情報交換が出来る状態である。また、当機構の学生については、寮を完備している関係で先輩からの情報が大きい。(※後日提供データ:平成29年度タンカー業界からの求人受付85社、うち小型船(500トン未満)所有船社は2割強)

(内タン) ある会社は、会社への入社する好情報(寮完備・高額な給与等)をアピールし、上手く応募に繋げていく会社もあるので知恵の絞り方ではないか。

(内タン) 実際に会社に入社する好情報を伝えており、応募者もある。会社側の枠もあり毎年採用することは難しいが、グループ会社全体で継続的に採用することが出来れば教育する側もノウハウが溜まり、職員登用に繋げていけるのではないかと考えている。

(内タン) 司厨部について陸上の調理師を採用しているが、定着率が低いため、以前あった清水の司厨科設備で対応出来る方法はないか。

(機 構) 清水校には専門教員が1人在籍しており、個別企業や全日海に対して講習は行っているが、船舶調理師免許に直結するわけではない。短期間で船舶調理師免許を取得出来るような取り組みを海事局で検討しており、機構にも協力の検討依頼は来ている。

(機 構) 内航未来創造プランの流れで、499トン相当でも居住区を拡充するという話もあるが、1部屋増やした場合、新人教育はどの程度を考えているのか教えて頂きたい。

(内タン) 当社では小型船を扱っており、教育センターの新6級の実習生も受け入れている。専航船で航海数があまり多くないことから、来た実習生が自分でも出来るのではという考えで入社する方もおり、入社後には6級または5級の免状を取得している。部屋数増＝定着率増とは考えられにくいのではないか。

※ 予定時刻となったため、質疑応答を終了し、今後も双方が協力していくことを確認して本日の懇談会を終了した。

以 上

## V. 水産高校生の求職希望に対する情報提供

本年度は、全国各地の水産高校より、運輸局、地区の船員対策協議会、内航総連合会宛、内航船への求職希望生徒のリストが地区や学校毎にまとめられ、下表一覧の通り業界に一覧の通り業界に情報提供があった。このため、組合員の就職活動の一助に供するため、メール網等を活用して即時に組合員へ通知した。

(平成31年3月卒業)

### 水産系高校卒業予定者の内航貨物船員(タンカー含む)への就職希望者一覧

地域	都道府県	NO	学校	本科		専攻科		合計					平成29年度実績			
				甲板	機関	甲板	機関	甲板・機関別			本科・専攻科別			(平成30年3月卒業生)		
								甲板	機関	計	本科	専攻科	計	本科	専攻科	合計
北海道	北海道	1	小樽水産高校	3				3	0	3	3	0	3	2		2
	北海道	2	函館水産高校	6			2	6	2	8	6	2	8	1	3	4
	北海道	3	厚岸海洋高校	1				1	0	1	1	0	1			0
東北	青森県	4	八戸水産高校	5	4			5	4	9	9	0	9	3		3
	岩手県	5	宮古水産高校			5	1	5	1	6	0	6	6	2	5	7
	宮城県	6	気仙沼海洋高校	2				2	0	2	2	0	2	2	3	5
	宮城県	7	水産高校		7		2	0	9	9	7	2	9	22	4	26
	秋田県	8	男鹿海洋高校					0	0	0	0	0	0			0
	山形県	9	加茂水産高校	1				1	0	1	1	0	1			0
	福島県	10	いわき海星高校		2			0	2	2	2	0	2	3		3
関東	茨城県	11	海洋高校	2	2			2	2	4	4	0	4	1		1
	千葉県	12	館山総合高校	1	3			1	3	4	4	0	4	2		2
	東京都	13	大島海洋国際高校					0	0	0	0	0	0			0
	神奈川県	14	海洋科学高校	1		10	6	11	6	17	1	16	17	6	19	25
北信越	新潟県	15	海洋高校					0	0	0	0	0	0	1		1
中部	静岡県	16	焼津水産高校	1	2			1	2	3	3	0	3	8		8
	岐阜県	17	三谷水産高校			5		5	0	5	0	5	5		4	4
	三重県	18	水産高校	1		2	2	3	2	5	1	4	5			0
近畿	京都府	19	海洋高校					0	0	0	0	0	0			0
中国	鳥取県	20	境浜総合技術高校	5				5	0	5	5	0	5	6		6
	鳥取県	21	鹿嶋水産高校	4	1	3	2	7	3	10	5	5	10	5	5	10
	島根県	22	浜田水産高校			2		2	0	2	0	2	2		4	4
	山口県	23	大津海洋高校	2	1	4	3	6	4	10	3	7	10	7	6	13
四国	徳島県	24	徳島科学技術高校	1				1	0	1	1	0	1	1		1
	香川県	25	多度津高校	2	5	8	2	10	7	17	7	10	17	1	3	4
	愛媛県	26	宇和島水産高校	6	3	7	3	13	6	19	9	10	19	4	3	7
	高知県	27	高知海洋高校	2	3	5	3	7	6	13	5	8	13	1	6	7
九州	福岡県	28	水産高校	3	4	2	2	5	6	11	7	4	11	7	7	14
	長崎県	29	長崎海洋高校					0	0	0	0	0	0	11		11
	熊本県	30	天草拓心高校	1				1	0	1	1	0	1	11		11
	大分県	31	津久見高校海洋科学校					0	0	0	0	0	0			0
	宮崎県	32	宮崎海洋高校					0	0	0	0	0	0			0
	鹿児島県	33	鹿児島水産高校	7	3	2	5	9	8	17	10	7	17	4	5	9
沖縄	沖縄県	34	沖縄水産高校					0	0	0	0	0	0			0
	沖縄県	35	宮古総合実業高校					0	0	0	0	0	0			0
				57	40	55	33	112	73	185	97	88	185	111	77	188

平成30年度  
船員対策委員会  
委員名簿

13名（平成31年3月末現在）

委員長	内藤 吉起	邦洋海運(株) 取締役会長
副委員長	高橋 洋一	昭和日タンマリタイム(株) 代表取締役社長
委員	前川 秀樹	旭タンカー(株) 執行役員
〃	佐藤 典彦	上野トランステック(株) 常務執行役員
〃	栗田 克己	田淵海運(株) 取締役常務執行役員
〃	木下 一也	鶴見サンマリン(株) 船舶安全本部船舶グループ副部長
〃	嶋村 賢治	浪速タンカー(株) 取締役船員部長
〃	松浦 一夫	幸福船舶(株) 代表取締役
〃	北 雅之	日新船舶(株) 取締役海務部長
〃	三谷 秀明	三谷海運(株)代表取締役
〃	阿部 和久	(株)霧島海運商会 代表取締役常務
〃	庭瀬 秀男	明神海運(株) 代表取締役
〃	松波 道男	潮辰巳商会 海運部課長

以上

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立小樽海上技術学校
訪問年月日	平成31年2月19日
訪問者 (順不同)	昭和日タンマリタイム株式会社中村常務、幸洋汽船(株)藤澤社長、三興運油(株)土井社長、鶴見サンマリン(株)木下副部長、久保田海務監督、(株)デュカム濱田船員部長、英雄海運(株)新井海務課長、(株)霧島海運商会阿部取締役、旭タンカー(株)宗和船員TL、事務局 山口 計10名
実施事項 (○印)	(1) 生徒全体説明 (2) 学校側懇談 (3) 個別就職面談 (4) 懇親会 (内タン関係者)

## 懇談・意見交換概要

### 1. 教職員との懇談会 13:10~13:40

学校側出席者：太田校長、鈴木教頭、庄司指導課長他 他 計7名

#### 【特記事項】

- ・ 校長より同校の近況について現状説明があった。  
閉鎖問題は小樽市はじめ地元の応援もあり、詳細は未定の部分も多々あるが、2021年短大化の方向で進んでいる。
- 3年生の進路について、27名中甲板部13名、機関部13名、1名は一般大学。機関の割合が増えた。
- 内航タンカーへは6名が内定。2年生は31名中甲板部18名、機関部7名、未定6名、タンカーへは5名。内タン側からSTCW関連で基本訓練の状況について質問、生徒へ発給した証明書等の写しを見せてもらった。

### 2. 生徒への説明：出席生徒1・2年生合計45名 13:50~15:20

1. 内航タンカー紹介DVD放映
2. 出席各社の紹介
3. 生徒との懇談で質疑応答

【主な質問事項】（ほぼ全社が1項目ずつ回答した。）

- ・ タンカーマンに必要なスキルとは何か？
- ・ 休暇の取得状況
- ・ 女性の就業比率について
- ・ 船内自由時間の過ごし方
- ・ 職場での人間関係について
- ・ 掃除は新人船員の役割なのか
- ・ 今回の学校訪問会社に1年生の生徒の兄が就職している会社があった。  
その生徒は兄と同じ会社に就職を希望しているとのこと。

#### (所見)

学校側から『生徒は就職先決定にあたり、在校生は卒業生の声に大きな影響を受ける。是非とも卒業生を来させてPRして欲しい。』とのこと。  
生徒への説明、質疑応答に当たっては学校側のリードで非常にスムーズ進めて頂いた。

以上

## 学校訪問報告書

訪問学校名	宮古海上技術短期大学校
訪問年月日	平成 30 年 10 月 16 日 12:00～15:00
訪問者 14名	藤澤社長（幸洋汽船㈱）、阿部取締役（㈱霧島海運商会）、平野取締役（昭和日タンマリタイム㈱）、山田総務部長（明和タンカー㈱）、本多スーパーバイザー（国華産業株）、金子取締役・森廣課長（アスト㈱）、蔭山取締役（芝浦海運㈱）、及川課長（上野トランステック㈱）、濱田取締役（㈱デュカム）、重信主任（日本ガスライン㈱）、前川執行役員・宗和チームリーダー（旭タンカー㈱）、目次管理部長（事務局）
学校側面談者	森校長、佐々木教頭、土元学生課長、橋本教務課長、吉江・木村教諭ほか
実施事項	(1)学校側懇談 (2)生徒全体説明 (3)個別企業面談

### 懇談・意見交換概要

#### (先生との懇談)

学校の現況、内航タンカーの現況について各々報告の後、懇談を実施



#### (学校の現況)

- ・1年生45名、2年生41名の全員が寮生活
- ・出身地は、東北6県51%、北海道16%、関東15%、西日本12%、北陸・東海5%
- ・受験者数は、定員45名に対し、28年度ピークで2.7倍、29～30年度は2.1倍
- ・海技免状合格者は、航海、機関4級の両方の合格者が毎年ほぼ100%
- ・平成29年度求人社数243社、求人数762名、求人倍率3.14倍
- ・船種別就職状況は貨物船、タンカー67%、旅客船17%、タグ9%、官庁7%
- ・過去3ケ年でタンカーへの就職者は、H27=7名、H28=11名、H29=13名
- ・現2年生の就職活動は、39名の就職希望者で32名が内定、6名が結果待ち・再トライ中
- ・タンカー会社への内定は8名、RORO船8名、フェリー8名、タグ6名、官庁4名等

#### (懇談の内容)

- ・2年生はデッキ希望が多いが、1年生は現時点でエンジン希望も多い
- ・1年生は3月末（4月1日の乗船実習前）に会社訪問を実施する、乗船地が東京のため、東京近辺の会社に行く場合が多い（地方の会社は学校に赴かないと難しいとの感想）
- ・近年、宮古～室蘭のフェリーが開通し、その希望者も多くなってきた
- ・現1年生では、タンカー希望者が11名いる
- ・離職者の調査はしているか？機構が数年に一度全校対象に実施している
- ・今後も双方で情報交換を密にし、協力することとした

(1/2)

(生徒との懇談)

1年生 45名に対し、内航タンカー説明用DVD視聴、各社毎に紹介とPR実施後に質疑応答



(生徒からの質問)

- ・タンカー船員のやりがいとモットーは？ 国民生活に密着した荷物は無事運んだ達成感
- ・タンカーでやってはいけない事？ 危険物を扱うので、守るべきことは守る
- ・新人が気を付けること、今の内に覚えておくことは？ 船でケガをしないこと、ロープワーク、バルブの回す方向、基本工具の名称は最低限覚えて欲しい、学生生活はエンジョイして欲しい
- ・船内での服装は用意する必要があるか？ 作業着は全て会社が手配、最小限の船内着だけ用意
- ・荷役やタンク清掃以外でタンカー固有の作業は？ 例えば海防法に基づく洗浄水の沖排出
- ・平水タンカーを初めて聞いたが何人で運航か？ 当社の河川船は2~3名
- ・タンカー固有の資格は？ 船長等が横須賀の消防実習が必要だが、会社に入ってから取る
- ・外航船は日本人で運航か？ 当社2隻は日本人で運航、外国人で運航する船もある
- ・乙4の資格は必要か？ 消防法の乙4は必要ない、自分のために勉強することは自由
- ・日本人船員で動かす船はどこまで行くか？ 韓国、東南アジア等が多い
- ・タンカー船員で制限されることは？ 規則が厳しい、係留岸壁が制限されることがある
- ・船内で船員同士気を付けることは？ 寮生活で学んだことが役立つ、交代で睡眠を取る気遣い
- ・乗船時の荷物で参考になるものは？ 生活用品は全て揃っている、娯楽用に好きなもの持てば良い
- ・就職面接時にどこを見るか？ 第一は健康、忍耐力、協調性
- ・日本と海外の荷役の違いは？ 海外ではパースマスターがいる、各地のレギュレーションの違い
- ・賄いのいない船もあるか？ 499GTまではいる船いない船もある、それ以下はほぼいない
- ・副業は出来るか？ 休暇中、実家の家業（稲刈り、漁業等）を手伝うことは例としてある

(生徒への質問)

- ①タンカーに乗りたいか？12名挙手 ②給料と休暇どちらを重視？給料15名 休暇30名
- ③3ヶ月乗船は長いのか？20名挙手 ④日帰りの船員に魅力を感じるか？15名挙手

(個別面談)

全体の懇談終了後、希望生徒が残り個別面談を実施した



## 学校訪問報告書

訪問学校名	館山海上技術学校
訪問年月日	平成 31 年 3 月 7 日 13:00～15:30
訪問者 8名	藤澤社長（幸洋汽船㈱）、山田総務部長（明和タンカー㈱）、本多スーパーバイザー（国華産業株）、砂山業務課長（芝浦海運㈱）、久保田海務監督（鶴見サンマリン㈱）、山下船員担当（旭タンカー㈱）、新井海務課長（英雄海運㈱）、日次管理部長（事務局）
学校側面談者	黒島校長、黒田教務課長ほか
実施事項	(1) 生徒全体説明 (2) 学校側懇談

### 懇談・意見交換概要

#### (生徒との懇談)

1、2年生 75名に対し、内航タンカー説明用DVD視聴、各社毎に紹介とPR実施後に質疑応答



#### (生徒からの質問)

- ・成人式は下船出来るか？
- ・3級取得しなくても採用されるか？
- ・湾内パンカー船の居住区、船内生活等を説明して欲しい？
- ・新人の給与はどのくらいか？
- ・危険物資格（消防法）は必要か？
- ・船内WiFi環境は整っているか？
- ・結婚は可能か？
- ・エンジンの最初の仕事は何か？
- ・洗顔、洗濯用具は揃っているか？
- ・3ヶ月乗船と2ヶ月乗船で給与に差はあるか？
- ・3ヶ月乗船中、陸に降りて遊ぶ時間はあるか？
- ・居住地は日本全国どこでも良いか？
- ・平水船の食事はどのように取るか？
- ・入社してから、JMET Sの本科、短大卒で差はつけるか？
- ・ケミカルタンカーはクリーニング等、体に毒性はないか？
- ・髪色（着色）、ピアス、入れ墨は認められるか？



(生徒への質問)

①就職で何を重視するか？①休暇 30 名、②給料 25 名、③痛い 5 名

(先生との懇談)

①学校の現況について報告

- ・ 1 年生 41 名、2 年生 36 名、3 年生 37 名、海上就職率 96.7%
- ・ 入試は推薦を含め複数回実施のため、実質倍率は 1.8 倍
- ・ 埼玉の小学生を招待し、学校を P R
- ・ 内航商船への就職も多い
- ・ 約半数が地元千葉県出身、原則寮生活
- ・ 入学後、エンジンのぼらしを最初にやり、エンジンへの興味持ってもらよう教育し、デッキ過多の傾向を解消するよう努力
- ・ 2 年生 36 名中、17 名が春休みに会社訪問を希望
- ・ 機関部の仕事で電気系統はますます重視されるので指導したい

②最近の学生の傾向

- ・ 給料は欲しいが、休み重視、お金を使う場と機会が欲しい
- ・ W i f i 環境は必須
- ・ 地元の会社、組織・未組織はこだわらない
- ・ 指示待ちのおとなしい子が多い（船社側でも教え方に苦慮している）
- ・ コミュニケーション能力、船内で聞くことが大事なことは指導

(2/2)

## 学 校 訪 問 報 告 書

学校名	清水海上技術短期大学校
年月日	平成30年10月10日 14:10～16:40
訪問者	藤澤（幸洋汽船）、野間（エヌアイ・ロケーション）、本多（国華産業）、森廣（アスト）、高橋（昭和日航マリン）、浜田（デュカム）、及川（上野トランスック）、藤山（芝浦海運）、山田（明和クレーン）、新井（英雄海運） 測（事務局）
学校側	片岡校長、宮野教頭、毛利教務課長、関本学生課長、田島教諭ほか
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明 (1年生120名)

### 懇談・意見交換概要

#### (先生との懇談概要)

- 内航タンカーの現況説明
- 清水校の現況



- ・学校応募者…今年度は114名の入学者、倍率は2倍を維持。3割は既卒者。全国から入学
- ・昨年度就職状況…4名進学、外航3名、内航61名（タンカー20名）、フェリー14名、官庁船6名、タグ・作業船20名、水産系2名（航海64名、機関39名、その他3名）
- ・最近の卒業生に学校で話してもらったケースがあり、それによってタンカー希望者が増えている。
- ・今年の卒業生、110名のうち、3ヵ月以内で3名が辞めた。再就職先は不明。
- ・水産高校への内タンの学校訪問で免状の重要性を知り、当校に入学する生徒もいて、感謝している。

#### (生徒との懇談概要)

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問



- (1)陸上勤務はあるのか？ 年数を経た後、勉強のために陸上の勤務を行うことはある。
- (2)部員からどのくらいで職員に？ 会社によって違うが、平均で2～3年、あとは実力差で決まる。
- (3)危険物の資格取得は？ 上級職員になるためには必要となるので、会社で取得させることが多い。
- (4)小型船のメリット、デメリットは？ 昇進が早く、仕事を早く覚えらる。乗組員が少なく忙しい。
- (5)ローテーションはあるのか？ 休暇が終わった後は、別の船に移る可能性もある。また、初めての船種に乗船する場合は、前任者と重複させることとしている。
- (6)バースに着けての休みは？ 危険物を積む船なので、空船の場合は月に1度程度、バースに着積する。
- (7)女性船員への対応は？ 仕事上では特別なことはせず、同じように対応している。設備的にはトイレや風呂を別にする船もあるが、施設で対応することも多い。洗濯物の扱いは気を付けている。
- (8)若い船員へのフォローは？ 休暇をきちんと与え、役割について話をし、若い人達が内航を変える人材ですよと機会ある毎に励ましている。
- (9)航海士、機関士、どちらが欲しいか？ どちらも不足しているが、特に機関部は不足している。
- (10)海技免状の必要性は？ 技量を見る前に、資格は目に見えるものなので、是非取っておいて欲しい。
- (11)休みほどどれくらい前からわかるか？ 休暇明けに次の休みを言う場合もあるが、遅くとも2週間前には伝えるようにしている。
- (12)ケミカルタンカーは体に悪いと聞いたが？ そういう風評被害に困っているが、今は直接荷物に触れないし、クレーンも機械で行うため、大丈夫である。
- (13)好不況の影響ほどの程度受けるか？ タンカー業界は、他の品物に比べて好不況の影響は受けにくく、大きな変動は少ない業界である。

#### (全体の感想)

当校は校長先生をはじめ対応が良く、生徒については、まじめな態度であり、積極的に質問をする生徒が多く、時間が足りないくらいであった。タンカーへの就職に関心がある生徒も多く、年齢的にも就職について、前向きな姿勢が見られた。

以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	唐津海上技術学校
訪問年月日	平成30年11月13日(火) 13:00~15:30
訪問者	阿部(霧島海運商会)、木下・花田(鶴見サンマリン)、浜田(デユカム)、山田(明和海運)、中村(昭和日タン)、尾崎・長野(宮崎海運)、重信(日本ガス)、木元(菱栄産業)、瀧(本部事務局)、中林(西部支部)
学校側	高山校長、野村教頭、佐々木指導課長、園田教諭、八木教諭、野中教諭
実施事項	① 先生との懇談 ② 生徒全体説明(2年生38名、1年生39名(女子1名))

### 懇談・意見交換概要

#### 先生との懇談概要

- 唐津校の現況・資料による現況説明(入試状況、生徒数、入学者出身地、求人状況、進路状況等)
- ・入学者は福岡、長崎、佐賀が80~90%を占めている。
- 内航タンカーの現況を資料による説明

#### 生徒との懇談概要

- 訪問の趣旨、内航タンカーの役割、活動、設備等(DVD、パンフレット)の説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談会での質問事項



- ・中東での石油紛争について? 石油業界の現況説明。油の値段に変動があるも国民生活に必要である。
- ・内航タンカーでの危険物資格は何か? タンカー船に必要な資格は就職してから取得する。
- ・内航タンカーでのやりがいのある作業は? 甲板員から甲板手に昇格した時の達成感。海では航海や入出港ごとにいろいろな物語が生まれることが楽しみで、その都度の仕事にやりがいがある。
- ・入社したころの悩み? 昔は年齢差があり相談する人がいなかったが、最近はテレビ、携帯等の機器が充実しており誰とでも相談できるので心配する必要はない。最初から難しい仕事に取り組むことはない、少しずつレベルアップすればよい。
- ・荷役の時間? 船舶の大小で荷役ポンプ能力に差があり、また陸上側の受け入れ能力に違いがあるので一定しない。
- ・日本の災害にどのように対応しているのか? 内航タンカー組合は国の出動依頼に対応している。物資輸送にも対応している。
- ・石油王手の合併が進んでいるが内航タンカーの油業界の今後の姿? 現在の業界説明。タンカー輸送量は変動が少ないので心配する必要はない。
- ・就職に当たって学生で必要なこと? 就職してから勉強することが多くあるが心配する必要はない。学生時代に生活を楽しむこと。
- ・大型、小型タンカーの船員数? 各タンカーの現状を説明。
- ・外航船と内航船の荷役の違い? 外航船は沖荷役があるが、内航型は岸壁荷役が主で、上陸できることもある。
- ・タンカー船の種類での作業の違い? 油の種類の説明、船型の違い等による作業実情の説明。
- ・先輩方がタンカーの会社を選択した理由? 最初は、先生方の業界話を参考にし、その後インターネット等を参考にした。
- 生徒への質問事項
- ・会社を選択するうえで、給料が多い方が良い、休暇が多い方が良い、脂は好きかについて手を挙げて答えさせると? 休暇が大多数、次に給料、脂は嫌だとある。
- ・今までの説明で内航タンカーに乗りたいと思ったか? 約1/3の挙手。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立川之津海上技術学校
訪問年月日	平成31年2月21日(木) 15:00~16:30
訪問者	木下・久保田(鶴見)、山田(明和)、平野(昭和)、桐山・濱嶋(上野)、長野・都築(宮崎)、重信(日本ガス)、弘中(菱栄)、多田(英雄)、中林(西部支部)
学校側	中嶋校長、松本教頭、枝元教務課長、永田指導課長
実施事項	①先生との懇談②生徒全体説明(2年生31名(女子1名)、1年生28名(女子1名)計59名)
懇談・意見交換概要	
<p>先生との懇談概要(15:00~15:30)</p> <p>○学校の現況・資料による現況説明(入試状況、生徒数、求人・就職状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学試験等の状況:最近は受験者・入学者が減少傾向、出身県別では長崎県・熊本県が多数を占める。</li> <li>・海技資格の状況:4級口述合格率は航海が100%、機関が96%、両方が96%と高い。3級全科目合格5名。</li> <li>・就職船種:26~28年度はタンカー船が多くあったが、29~30年度は大型貨物船に代わってきた。</li> <li>・就職率は100%、最近では1~3ヶ月で離職するものがある。最近生徒は気が弱い者が多い傾向にある。</li> </ul> <p>○内航タンカーの現況を資料による説明(船齢、船員の高齢化)</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>生徒との懇談概要(15:30~16:30) 1、2年生59名</p> <p>○訪問の趣旨、内航タンカーの役割、活動、設備等(DVD、パンフレット)の説明</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・内航タンカーのDVDでの説明</li> <li>・パンフレットを使用しての説明</li> </ul> <p>○出席各社の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社から自己紹介と会社説明</li> </ul> <p>○船社側からの企業説明</p>	

- ・所属タンカーの現状及び会社の取り組み説明。
- ・就職してから日通試験の日や上級の免状を取得するのに、会社としては上級の免状を取得することに対応している。
- ・会社からの指示で休暇の取得のために日本全国の港湾で乗下船する。その時の交通費等は会社が負担するので安心すること。
- ・タンカー船は危険物を取り扱うので手当が付いてその分給料も多く、長期休暇を取得できるので海外旅行するもの、日本国内でも目的をもって長期間計画で楽しい旅行が出来る。

○生徒からの質問

- ・学校で取得すべき資格は何か？ 危険物関係の資格は就職してから会社負担で行うので心配する必要はない。
- ・荷役に立ち会いと聞いたが時間は長いのか？ 船舶の大小で荷役ポンプ能力に差があり、また船上側の受け入れ能力に違いがあるので一定しない。立ち会いや点検作業には手当がつく。
- ・3ヶ月乗船で長時間勤務と聞いたが勤務体制は？ 航海する時は当直を組んでおり通常は4時間当直で交代している。普通は合計すると8時間勤務である。3か月乗船とあるが海上を3ヶ月連続して航海するのではなく、航海日数は二日前後で荷役は岸壁に着岸して行うので、荷役終了後、次の出航時間まで上陸できることもある。乗船して下船する間の船内に拘束されている時間が長いことである。乗船中は多くの港を回るなのでそれぞれの景色を楽しむのも生活に張りが出る。

--	--	--	--

# 学校訪問報告書

訪問学校名	独立行政法人海技教育機構 国立波方海上技術短期大学校
訪問日	平成 30 年 11 月 14 日
訪問者	四国支部長 山本 宗宏 他 19 名(別紙訪問者出席表添付)
学校側面談者	校長 澤田幸雄・教頭 中山信一郎・庶務課長 高平恵一他 2 名
実施事項	第一部学校側と組合側の現状説明会 第二部生徒全体への説明会 第三部情報交換懇談会

## 第一部 学校側と組合側の現状説明会 (学校関係 5 名・組合側 20 名)



## 第二部 生徒全体への説明会 (1 年生 86 名 教員 6 名)



## 第三部 事業者と学校側との意見交換・懇談会



## 学校訪問の概要

(1) 上記の実施事項欄の3部会にて実施した。

(2) 部会別では

### 第一部 学校と組合の現状説明と情報交換会

#### ・学校作成資料の説明

資料1 実受験者数 28年度がピーク以降は漸減見込み。少子化と陸上企業人手不足要因見込み。

資料2 受験者の出身地では九州出身者が増加傾向。

資料3 四級海技士口述試験 28年から100%の合格を堅持している。

資料5 ・30年度内定状況、タンカー就職者19名前年比+1名。貨物船内定者前年比▲7名、フェリー旅客船前年比+7名。

・新卒者の船種別給与額は、タンカー高額の定説が昨年度は貨物船等のアップから崩れも懸念されたが今年度はタンカーのアップからタンカー優位を維持した。(貨物船対比月額19千円タンカー高。セメント船5千円タンカー高。しかし、業界のコストアップが懸念される)

### 第二部 生徒への説明会

・参加組合員の自己紹介並びに山口海工務部長から説明。その後、生徒からの質問に対し参加企業者が応えた。

#### ・質疑内容、

入社的事前習得すべき技能・知識はありますか。

30歳の学生から年齢ハンディはありますか。

・タンカー就職を希望する人数22名26%(昨年比+8挙手ペース)。

・就職先選択肢 休暇定着の希望者が約80%を占め、給与高を選択した17%を上回った

### 第三部 教職員との情報交換並びに懇談会

・同校の就職内定時期は他校より早く7月～9月にほぼ内定する(11月7日現在95%確定、残り5%は通知待ちの状況)。

・1年生のタンカーへの就職希望者は26.5%と昨年度より増加し、希望率は持直し傾向。

・退職者の推定数3年で40%、しかし業界内に90%はとどまっている見込み。新卒者の短期退職率は改善傾向

(3) まとめ

同校から毎年多数の卒業生が組合員企業に入社している事もあり従来から極めて良好な関係を維持してきた。

今後も両者が安心と安全を求める生徒の教育と企業体質を維持する事を共感しつつ終了した。

以上

学 校 訪 問 当 日 の ス ケ ジ ュ ー ル

1、日時 平成30年11月14日(水曜日)

2、場所 独立行政法人海技教育機構  
国立波方海上技術短期大学校

3、進行等

第一部(11:00～11:30)

全国内航タンカー事業者と学校との情報交換会

(1) ご挨拶

全国内航タンカー海運組合四国支部長 山本 宗宏

国立波方海上技術短期大学校校長 澤田 幸雄

(2) 出席者自己紹介

(3) 内航タンカーの現況について(事務局)

(4) 国立波方海上技術短期大学校の現況について(学校から)

第二部(11:30～12:20)

内航タンカーの概要について(説明及び質疑応答)

(説明者 全国内航タンカー海運組合本部 海工務部長 山口 孝次)

第三部(12:20～13:00)

全国内航タンカー事業者と学校関係者との懇談会(昼食・懇談)

4、学校訪問参加者名簿(20名)

会 社 名	役 職	氏 名	住 所	備 考
山本汽船(株)	社 長	山本宗宏	松山市	(四国支部長)
宮崎海運(株)	海務部長	尾崎史	今治市	都築正雄(海務課長)
上野トランステック(株)	海務部課長	及川正文	東京都	
三興運油(株)	社 長	土井秀一	横浜市	
三鳳汽船(株)	社 長	三宅太	今治市	
昭和ロタンマリタイム(株)	社 長	高橋洋一	東京都	
佃霧島海運商会	取締役	阿部信弘	北九州市	
佃デュカム	取締役	浜田誠吾	東京都	
明和タンカー(株)	総務部長	山田智昭	東京都	
国華産業(株)	スーパーバイザー	本多昭博	東京都	
浅川汽船(株)	社 長	山本達雄	今治市	
三ツ浜汽船(株)	社 長	渡部哲	松山市	藤岡良孝
芝浦海運(株)	業務課長	砂山武士	東京都	
松山海運(株)	取締役	早瀬勝久	松山市	
日本ガスライン(株)	常務取締役	木下一延	松山市	重信周平(船舶部主任)
全国内航タンカー海運組合本部	海工務部長	山口孝次	東京都	
// 四国支部事務局	事務局次長	渡部壽	松山市	



## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	海枝人学校
訪問年月日	平成30年11月15日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之 (国海海運㈱) 土井 崇司 (旭タンカー㈱) 山田 智昭 (明和タンカー㈱) 桐山和広 (上野トランステック㈱) 岡崎 誠 (O. M. 物流㈱) 浜崎 親志 (鵜辰巳商會) 磯合 信之 (三興海運㈱) 笹木 重雄 (東幸海運㈱) 松波 道男 (鵜辰巳商會) 北野 敏夫 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	堀校長 近藤学務部長 杉田航海科長 遠藤学生課長 大野先生 奥富先生 吉原先生 菊地先生 杉本先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>◎先生方との懇談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北委員長、堀校長それぞれ挨拶の中で訪問に対する謝辞を述べ、その後フリートークキングに入った。</li> </ul> <p>(概要別紙添付)</p>	

## ◎先生方との懇談

先生よりケミカルタンカーはなぜ大変なのかとの質問があり、以前は人がタンクの中に入りクリーニングを行っていたが今はそれほど大変でなくなっている。昔の大変だった頃のイメージがまだ残っているとの返答をした。

また賄は誰がやっているのかとの質問があり、小型船では賄の人を乗せる余裕がなく以前は個別でやっていたが、今は好きな人が全員分を総めてやっている船もあるとの返答をした。

## ◎先生方との懇談風景



## ◎生徒への出前授業

生徒への出前授業は、1年生30名に対して実施。

最初に内タン製作のDVDを見てもらい、そのあと笹木氏がタンカーの乗組員についての補足説明を行った。

その後学生をタンカー希望、外航・フェリー希望、未だ船種を決めていない学生の3グループに分けグループトークを行った。学生は全員海運会社志望であった。

## ◎タンカー希望の学生とのミーティング（6名）

タンカー希望の理由は給料が良いとの事であり、手取り30万円欲しいという学生もい

た。

休暇と給料のどちらが大切かとの質問には給料が1名、休暇が5名であった。

山田氏がケミカル船の構造、仕事の詳細を、北氏が各社が労働環境や時間の整備に取り組んでいることを説明した。

また学生からは内タン組合としてパワハラ、セクハラ問題に取り組んでいるかとの質問があり、組合としては対応していないが、各社は対応していると返答した。

#### ◎外航・フェリー希望の学生とのミーティング（14名（女性1名を含む））

約半分の学生が大手を希望。

学生からの質問が出なかったので、土井氏（海技大OB）が大手に入るのは難しいので他の船会社もターゲットにした方が良い。海技大はOB訪問、連携が少ないので積極的に自分から動く必要がある。転職も恐れずに取り組んでほしいと話した。

桐山氏が自分の志望、挑戦したい企業に加えて、後から知らなかったが行けばよかったと思わないように、現実的に合格できる会社を調べておいた方が良い。

内航についてはフェリーを希望する学生が3名居たが志望理由については不明瞭な印象であった。

#### ◎船種を決めていない学生とのミーティング（10名）

船種を決めていないという事であったが意中の船種は有るようで、開けば調査船1名、RORO船1名、客船1名、官庁船3名、外航船4名であった。

こちら側からは下記の話をした。

内航タンカーは安全管理には非常に厳しいがここを経験すると他の船種の仕事を楽に感じられるようになる。

早く仕事を覚えたいなら小型船の方が有利で一人前になってからの転職もこの業界からは容易で、自分の希望する船種に行きやすい。

積極的に会社訪問をして色々な話を聞き自分の乗りたい船種を見つけてください。内航タンカーの会社なら気軽に会社訪問を受け入れてくれる。

#### ○学生（先生）からの質問及びそれに対する返答が下記の様であった。

各船種の休暇体制？

内航タンカーは3ヶ月乗船、1ヶ月休暇のサイクルだが、最近は2ヶ月乗船、1ヶ月弱休暇のような体制も増えてきている。RORO船も同じような体制と思われる。外航船は4～10ヶ月乗船、2～3ヶ月休暇位と思われるが各社でまちまちである。

各船種の船室はどうなっているか？

内航船はほぼ各自個室になっているがバス・トイレは共同である。WiFi環境はほぼ整っているが電波状況は場所によって悪いところがある。

若手船員の離職する原因は？

人間関係で退職することがほとんどで、これは陸上でも同じである。

就職するに当たり何を勉強すればよいか、また心構え等は？

学校で教えることは基礎知識であって、就職したら基礎の応用ばかりであるので基礎をしっかりと勉強しておくこと。仕事に必要な知識は会社が責任を持って教えるので心配ない。卒業時には3級免状を取得してくると思うが会社側は1～2年は勉強期間で戦力としては考えていない。ただし本人の努力次第では早目の士官昇格も有り得る。

ケミカルタンカーのイメージが船員の声がガラガラと感じるが？

あくまでイメージでしかなく、内航タンカー特にケミカルタンカーは危険物を積み込むので、安全には厳しく管理されており、体に影響はない。

### ◎出前授業風景



以上

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	北海道小樽水産高等学校
訪問年月日	平成31年2月20日
訪問者 (順不同)	昭和日タンマリタイム株式会社中村常務、幸洋汽船(株)藤澤社長、(株)デュカム濱田船員部長、 鶴見サンマリン(株)木下副部長、久保田海務監督、英雄海運(株)新井海務課長、 (株)霧島海運商会阿部取締役、旭タンカー(株)宗和船員TL、事務局 山口 計9名
実施事項 (○印)	① 生徒全体説明 ② 学校側懇談 ③ 個別就職面談 ④ 懇親会

## 懇談・意見交換概要

### 1. 教職員との懇談会 09:00~09:35

学校側出席者 : 木村校長、三田村教頭、菊池教諭他 他 計7名

#### 【特記事項】

- ・ 学校側より学校案内とともに最近の進路について説明があった。  
内航タンカー船社には安定的に輩出しており、今後も期待できる。  
同校は船舶職員養成施設の専攻科で3級航海、海洋漁業科本科で5級筆記免除の指定を受けている。  
従い、上記卒業生はSTCW条約関連の基本訓練はクリアーしている。

### 2. 生徒への説明：出席生徒 本科2年生39名(全員男子) 09:45~10:35

1. 内航タンカー紹介DVD放映
2. 出席各社の紹介
3. 生徒との懇談での質疑応答内容

【主な質問事項】(学校側が将来船に乗りたいと思っている12名生徒を中心に指名し、質問をさせる形式をとって頂いた。)


- ・ 乗船するときの場所はどういう所か
- ・ 危ないことはあるか
- ・ 船員になって良かったことはどんなこと
- ・ 危険物の上級をとっておいたら良いことがあるか
- ・ 船の中の1日のサイクルはどんなもの
- ・ 本科で就職するのと専攻科に行ってから卒業するのはどちらが良いか
- ・ すぐやめる理由は何だと思うか
- ・ 乗船中、自由な時間は何をやる

#### (所見)

当初、39名中タンカー希望は3名と聞いていたが、質疑応答の終盤、タンカー希望を聞いてみると10名であった。今回の学校訪問の成果はあったのではないかと感じた。  
3ヶ月の乗船期間を長いと感じる生徒が20名いた。

以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

学校名	北海道函館水産高等学校
年月日	平成30年12月11日 15:00～16:30
訪問者	藤澤（幸洋汽船）、坂本（霧島海運商会）、高佐・竹駒（昭和日航マリン）、浜田（デュカム）、古野谷（古野谷海運）、新井（英雄海運）、測（事務局）
学校側	中野進路指導部 機関工学科教諭
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明（機関工学科・海洋技術科3年生・2年生30名）
懇談・意見交換概要	
<p>(先生との懇談概要)</p> <p>○内航タンカーの現況説明</p> <p>○函館水産高校の現況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応募者…今年度は応募倍率1.4倍と定員を上回ったが、今の2年生の時は定員割れとなった。入学者のほとんどは道内であるが、遠距離の生徒で自宅外通学者もいる。</li> <li>・前年度就職状況…海洋技術科・機関工学科で16名が進学、うち海洋技術科の4名が国立海技短大に進学、就職先では、海洋技術科・機関工学科合わせて、貨物船1名、旅客船4名、官庁船1名、自衛隊7名、官庁3名、一般企業22名であり、タンカーは3名となっている。機関工学科の生徒が自動車関連に多く就職しているのが目立つ。タンカーの知名度が低いことが影響していると思われる。</li> </ul> <p>(先生からの質問)</p> <p>(1) 女子の採用については考えられるのか？ 会社によっては、採用経験があり、今も採用しているところがある。これから女子が有力な戦力になることは確実であり、そのため、現在女性が働いている会社においては、船内の環境整備も進んでいる。女子を採用する会社も多くあるので、個々に連絡を取ってほしい。</p>	
	
<p>(生徒との懇談概要)</p> <p>○DVDで内航タンカーの仕事説明</p> <p>○出席各社の紹介</p> <p>○生徒との懇談で次の質問</p> <p>(1) タンカーの一般的な動きは？ 一般的なタンカーは不定期航路で、日本全国を航海することが多い。また、船種や大きさによっても航路が違ってくることがある。よって、交代の時はどこの港で行うかは臨機応変となる。</p> <p>(2) 危険物の資格は必要か？ すぐに必要としないが、将来的に幹部（船長、一航士、機関長、一機士）になった場合は、船種に応じた資格が必要となるが、それはその時々で会社の費用で取得をさせてくれる。</p> <p>(会社側からの質問)</p> <p>(1) 入社後、3ヵ月乗船、1ヵ月休暇は長いと思うか？ ほぼ全員が長いという回答であった。またどれくらいの期間の勤務が妥当と思うか？ 長くて1ヵ月勤務という生徒が多かった。</p> <p>(2) 内航タンカーの就職先としての認知度は？ ほぼ全員が就職先として考えていなかった。</p> <p>(全体の感想)</p> <p>先生の対応は良く、生徒はまじめな態度であったが、全体的におとなしい印象。水産高校のため、内航タンカーへの認知度は低かったが、懇談会終了時点では、内航タンカーへの興味を持った生徒がかなり増えたようであった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

## 学 校 訪 問 報 告 書

学校名	青森県立八戸水産高等学校
年月日	平成30年12月12日 10:20~12:00
訪問者	藤澤 (幸洋汽船)、竹駒 (昭和日タマタリ(A)、浜田 (デュカム)、洲 (事務局)
学校側	藤澤校長、工藤専攻科主任教諭、西原専攻科漁業科担任教諭ほか
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明 (専攻科1年生12名)

### 懇談・意見交換概要

<p>(先生との懇談概要)</p> <p>○内航タンカーの現況説明</p> <p>○学校の現況説明</p>	
---	--

- ・多くの先生方が内航タンカーの知識を深めるためにDVDを見たいと参加された。
- ・海洋生産科、水産食品科、水産工学科、情報通信科、専攻科(漁業科・機関科)に分かれ、入学者は定員を満たしている。生徒は青森県内がほとんどである。
- ・就職状況…海技の上級学校への進学は、28年度4名、29年度1名、30年度1名、就職では、内航に28年度4名、29年度5名、30年度は現在のところ1名で、まだ認知度が低いように思われる。

### (先生からの質問)

- (1)女子船員の割合は? 全体的にまだ多くはないが、積極的に採用している会社も出てきている。これから女子が大事な戦力になることは確実であり、そのため、現在女子が働いている会社においては、船内の環境整備も進んでいる。女子を採用する会社も多くあるので、個々に連絡を取ってほしい。

<p>(生徒との懇談概要)</p> <p>○DVDで内航タンカーしごと説明</p> <p>○出席各社の紹介</p> <p>○生徒との懇談で次の質問</p>	
---	--

- (1)危険物取扱資格の必要性は? 陸上の資格とは違うため、船種毎に講習を受講して取得するが、必要になった場合は、会社から受けさせてもらえる。
- (2)内航ではどのような免許が必要か? 内航船の場合、大型船でも4級で船長ができるので、4級以上の資格を持っていれば十分である。
- (3)休暇以外の条件について? 船員としての給与は、陸上で働くよりもかなり良く、特にタンカーは他の船種より、上回っている。これは荷役を自分で行うことに起因している。また、ユニフォームや靴は支給され、船の中での食事代は会社が支給する。休暇のための乗下船交通費も全額支給され、休暇中も給料は支給されるので、お金は貯めやすい。
- (4)1年以内で辞めることは? やはり、環境や休暇の問題で1年以内に辞める人はいる。船内での指導の仕方についても教育するようにしている。

### (全体の感想)

専攻科の生徒で、海運を目指している人が多いこともあり、全員まじめな態度で、全体的に引き締まった印象であった。しかし、まだ内航タンカーに対する理解が十分とは言えなかった。先生方の内航タンカーについて積極的に学ぼうという姿勢に好感が持てた。

以上

## 学校訪問報告書

訪問学校名	宮古水産高等学校
訪問年月日	平成30年10月16日09:50～11:40
訪問者 14名	藤澤社長（幸洋汽船㈱）、阿部取締役（㈱霧島海運商会）、平野取締役（昭和日タンマリタイム㈱）、山田総務部長（明和タンカー㈱）、本多スーパーバイザー（国華産業株）、金子取締役・森廣課長（アスト㈱）、隘山取締役（芝浦海運㈱）、及川課長（上野トランステック㈱）、濱田取締役（㈱デュカム）、重信主任（日本ガスライン㈱）、前川執行役員・宗和チームリーダー（旭タンカー㈱）、目次管理部長（事務局）
学校側面談者	榎原校長、佐々木副校長、菅野主事、畑川主任ほか
実施事項	(1)学校側懇談 (2)生徒全体説明
懇談・意見交換概要	
<p>(生徒との懇談、質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋技術科1年生16名（男子12名、女子3名）</li> <li>・内航タンカーをDVDで説明の後、各社説明PR</li> <li>・主な質問             <ol style="list-style-type: none"> <li>①各社新造計画と減船予定は？</li> <li>②船での人間関係は厳しいか？</li> <li>③タンカーは若手が辞める傾向があると聞いているが？</li> <li>④海技免状以外必要な資格は？</li> <li>⑤基本給以外の手当の種類は？</li> </ol> </li> <li>・生徒への質問結果             <ol style="list-style-type: none"> <li>①希望の就職先は？ …漁船8名、タンカー2名、フェリー他、</li> <li>②就職で重要視する内容は？ …給料4名、休暇7名</li> </ol> </li> </ul> <p>(先生との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の水産校で最も歴史ある学校だが、宮古地域全般の生徒数の減少もあり、来年新入生から3学級を2学級に縮小（食物、家政関係を統合）</li> <li>・企業からの求人数は多く、800～900社、内、船関係は50～100社</li> <li>・海洋技術科3年生の就職内定は、陸上14名、自営7名、進学4名、内航船2名、</li> <li>・専攻科（男子）4名は、1名内定、3名は未定（内航船希望）</li> <li>・食物科では調理教育を行い、調理士資格を取る者がいる。今年も2名が船の可厨員として就職した。</li> <li>・現3年生は陸上就職者が多く、現2年生は海上希望が多い、年によって傾向が偏る。</li> <li>・食物科の生徒にタンカーの可厨員としての仕事の説明を行いたいので、来年は希望生徒を合同で参加してもらいたいとの当方提案に対し、是非協力したいとの回答を頂いた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>	



## 宮城県水産高等学校進路懇談会報告

1. 日 時 平成30年7月9日(月) 14時30分~16時
2. 会 場 宮城県水産高等学校 視聴覚室
3. 対 象 者 航海技術類型：3学年12名・2学年21名、機関工学類型：3学年23名・2学年16名、調理類型：3学年4名・2学年10名、合計86名(内、女子生徒8名)
4. 参加事業者  
(敬称略) 日本内航海運組合総連合会 船員対策委員会委員長 内藤 吉起  
日本内航海運組合総連合会 船員対策委員会委員 高橋 洋一  
幸洋汽船(株) 代表取締役社長 藤澤 敏則  
商船三井フェリー(株) 船舶部副部長 富山 幸弥  
船舶部副部長 大向 克則  
興和海運(株) 取締役海務部長 近江 喜代彦  
全日本海員組合東北地方支部 支部長 高橋 雅幸  
東北運輸局海事振興部 船員労政課長 柳田 悟志  
船員労政課専門官 村林 真悟  
東北内航船員対策連絡協議会 事務局長 木村 誠  
日本内航海運組合総連合会 事務局 藤岡 宗一
5. 講習会次第
  - (1) 開会挨拶(敬称略)
    - ① 宮城県水産高等学校校長 瀧田 雅樹
    - ② 日本内航海運組合総連合会 船員対策委員会委員長 内藤 吉起
  - (2) 講 習(敬称略)
    - ① DVD「海を駆ける若者たち」放映(内航海運、内航船員の紹介)
    - ② 訪問各社の船種、各社のアピール、採用状況等について
    - ③ 漁船について 全日本海員組合東北地方支部 支部長 高橋 雅幸
    - ④ 「めざせ!海技者セミナー in 仙台」について  
東北運輸局海事振興部 船員労政課長 柳田 悟志
  - (3) 質疑応答
    - ① 危険物船に乗るには危険物の資格は必要ですか。  
<回答>タンカーでは一航士・一機士以上の船員には危険物の資格が必要である。海技免状以外の資格については、就職後に会社が支援する制度を充実させている会社も多くある。
    - ② 長期乗船になると家族と疎遠になると思うのです休暇はどのように過ごしますか。(女子生徒)  
<回答>フェリーは3週間乗船して10~14日間で休暇下船である。携帯

電話も使用でき、船内では Wi-Fi 環境が整っているため日頃はライン等で連絡している。家族とも月に1回は会える状況にある。

貨物船は3か月間乗船して1か月間の休暇である。司厨部員の女性が4人いるが、その内のひとりが入社後最初の休暇で韓国旅行していた。三年目になるとその人はスペインやイタリアに行っていた。

## 6. 所 感

事前に教員の方々との面談をお願いしていたが、当日は三者面談の日で実現できなかったため、来年はぜひ実現したい。

また、今回は講話形式で行ったが、漁船は翌日企業ブース制にしたために企業から直接生徒がいろんな話を聞くことができたので大変好評であったと聞いた。来年度は、我々貨物船も企業ブース制にして参加することとしたい。



## 学 校 訪 問 報 告 書

学校名	いわき海星高等学校 海洋科・海洋工学科
年月日	平成31年2月14日 13:30~15:30
訪問者	及川・小野（上野トランステック）、新井（英雄海運）、藤澤（幸洋汽船）、本多（国華産業）、 濱田（デユカム）、笹木（東幸海運）、瀧（事務局）
学校側	岩下教諭（海洋工学科長）、雨谷教諭（海洋工学科）、坂田教諭（海洋科長）、 馬上教諭（海洋科）
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明（本科1・2・3年生25名）

### 懇談・意見交換概要

#### (先生との懇談概要)

- 内航タンカーの現況説明
- 学校の現況説明



- ・学校応募者…4つの学科に分かれ、そのうち船舶乗組員になるべく勉強しているのは、海洋工学科と海洋科であり、各学年40名の募集。自宅通学者がほとんどであり、寮生は5%程度である。
- ・今年度就職状況…1割程度が進学、就職では、水産海洋関連企業のうち、内航タンカーへの就職者も出た。地元を含むタグボート業者が人気である。航海・機関とも5級筆記免除取得が中心である。
- ・今回、一語話を聞きたいはずの専攻科の学生10名（航海4、機関6）が実習のため不在であったため、次回は日程を調整する必要がある。
- ・STCWの基本訓練は在学中に受けさせ、証明書を発行するとのことである。

#### (生徒との懇談概要)

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問



- 上野トランステック小野晴貴操機手（同校卒業生）からの説明



(1)平水船とは？ 特に湾内や河川を航行する 100KL 積み程度の小型船で、2～3名の乗組みで居住区もなく、日々自宅から通っている。新卒の船員はあまり働いていない。

(2)各海技関係学校卒業での違いは？ あくまで免許の世界なので、入った時での違いはあるが、時間の経過とともに、逆転現象もありうるので、すべては実力次第でプロモートされていく。

4級の免状があれば、内航の船長ができると思われる。

(3)タンカーの魅力とは何か？ 個々によって違うが、長期での休暇が取れること、船の中ではお金を使う必要がないため、多くのお金を貯めることができる賃金水準である。また、日常生活に不可欠なエネルギーの輸送を行っているという満足感がある。

(4)機関から航海への配置転換は可能か？ できないことはないが、現状では機関部が足りない状況であり、なかなか難しい。逆の場合では、ほぼ無理である。

(5)離職率はどれくらいか？ 今現在、あまり多くはない。離職して他の船種に行ってもまたタンカーに戻ってくるケースが多い。

#### (全体の感想)

当校は今回初めての訪問であったが、先生の対応が非常に良く積極的であった。生徒については、まじめな態度で、説明もよく聞き、みんなの表情が良かった。今まではあまりタンカーに就職しなかったが、徐々にタンカー就職者も出ており、しっかりした学校なので、今後もフォローしていける学校であると感じた。

以上

## 学校訪問報告書

学校名	茨城県立海洋高等学校 海洋技術科
年月日	平成31年2月15日 9:40～11:40
訪問者	及川（上野トラスター）、藤澤（幸洋汽船）、本多（国華産業）、濱田（デンカム）、 笹木（東幸海運）、兼松（浪速カナー）、瀧（事務局）
学校側	鈴木校長、奥原進路指導主事、住谷教諭（2年担任）、沼倉教諭（1年担任）
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明（2年生33名）

### 懇談・意見交換概要

#### (先生との懇談概要)

- 内航タンカーの現況説明
- 学校の現況説明



- ・学校応募者…3つの学科に分かれ、そのうち船舶乗組員になるべく勉強しているのは、海洋技術科であり、各学年30名前後の募集。現在3学年で80名であり、1年生が18名と少なくなっている
- ・今年度就職状況…18名が進学、就職では、水産海洋関連企業のうち、商船関係に8名で、内航タンカーへは今年2名が就職する。航海・機関とも5級筆記免除取得が中心である。

#### (生徒との懇談概要)

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問



- (1) 入る時に必要な資格は？ 皆さんが取得した5級の海技免許を乗船履歴取得後取って頂ければ結構で、頑張って4級を取れば、内航の船では船長ができる。
- (2) 給与水準は？ 卒業して陸上の会社に勤めた場合の2～3倍の給与になると思われる。船での費用はかからないので、我慢して貯めれば、大きな買い物もできる。
- (3) 配乗の基準は？ 何隻かの船を持っている場合は、休暇時のローテーションがある。特殊な船舶に配乗された場合は、簡単に替わることもできないこともある。
- (4) 寄港、仮バースではどのくらいの自由時間があるのか？ 仮バースの時は、半日から1日の自由時間が取れるので、それぞれ陸上に上がる等、日頃できないことをする完全休日となる。
- (5) 色弱の影響は？ デッキでは影響するが、機関では関係ない。矯正する眼鏡も出ている。
- (6) 病気の時の対応は？ 沿岸を航行しているため、最寄りの港に寄港して対応できるし、万が一の場合は、海上保安部等の救急依頼を行う。

#### (全体の感想)

当校は2回日の訪問であったが、先生の対応が初めてのようスムーズではなかった。生徒については、全く関心のない者もいたため、前年と違い緊張感に欠ける雰囲気であった。先生、生徒の奮起を促したいと思った。

以上

## 学校訪問報告書

訪問学校名	館山総合高等学校
訪問年月日	平成31年7月20日 09:40～13:20
訪問者	藤澤社長(幸洋汽船株)、野口社長(南野口海運)、本多ス・パ・ハ・ザ・(国華産業株)、兼松課長(浪速タンカー株)、土井海務安全担当(三興汽船株)、日次管理部長(事務局)
学校側面談者	石井校長、鈴木教頭、守安教諭、渡辺教諭
実施事項	(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談

### 懇談・意見交換概要

#### (生徒全体説明)

- ・専攻科1年生4名、本科2年生5名、本科1年生11名
- ・DVD上映、訪問会社紹介、生徒との質疑応答

#### (生徒質問)

- ・海技免状は何級まで取得した方が良いか?
- ・女性船員はいるか? 求人はあるか?
- ・船内の過ごし方の様子を聞かせて欲しい?
- ・インターンシップ、船の見学は可能か?
- ・平水船の勤務体系、宿泊は船内か陸上か?



- ・上記、懇談の後、タンカーへの就職に興味を持ったかの質問に、8割が挙手。

#### (先生との懇談)

- ・定員(本科デッキ20名、エンジン20名)(専攻科デッキ50名、エンジン5名)
- ・南房総地区4つの高校は全て定員割れ。本校でも4月新入生は定員40名に対し25名。
- ・教員の確保にも苦慮している(教職課程+海技免状必要で対象者が少ない)
- ・ここ数年は、半数近くがタグの会社に就職、タンカーへの就職者も少ないがいます。
- ・本日の説明でもタンカーに興味ある生徒が多かったため、就職先としてバックアップ願いたい旨依頼。



## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	神奈川県立海洋科学高等学校（旧三崎水産）
訪問年月日	平成 30 年 12 月 7 日 10:00～12:40
訪 問 者	高橋（昭和日タンマリタイム㈱）、野口（南野口海運）、桐山（上野トランステック㈱）、兼松（浪速タンカー㈱）、蔭山（芝浦海運㈱） 山下（旭タンカー㈱）、久保田（鶴見サンマリン㈱）、目次（事務局）
学校側面談者	町山教頭、高木総括教諭、佐美・新倉・市川教諭
実施事項	(1)学校側懇談、生徒説明（学校の進路ガイダンス行事の一環で参加）

### 懇談・意見交換概要

#### (在校生及び就職の現状)

- ・本科・船舶運航コース 1 年生 39 名、2 年生 35 名、その他コース 120 名
- ・専攻科 1 年生 航海 10 名、機関 4 名
- ・専攻科航海就職希望 外航 2、内航 8（貨物 4、調査船 1、RORO1、タグ 1、未定 1）
- ・専攻科機関就職希望 内航タンカー 3、陸上 1
- ・求人は多い、また、学校には離職者の中途採用の相談もある
- ・漁港（三崎）なので、漁船を希望する生徒もいる

#### (訪問者の質疑応答)

- ・職員でなく甲板部員を目指す者はいないか？船に乗って甲板長指向に替わる者はいる
- ・東京湾には内航タンカーも多いので、就職前にタンカーを見学して欲しい旨説明

#### (生徒との懇談、質疑応答) 本科 1, 2 年生 21 名

- ・在学中に海技免状以外必要な資格は？…危険物（消防実習）資格は就職してから取る  
が、小型船舶が学校で取得出来れば取っておいた方が良い
- ・船内の就業時間は？沿海船は航海当直 3 直制の 8 時間労働が基本、タンカーはその外  
に荷役がある。平水船は朝早く係船場で船に乗り、夕方降りる、通勤船員のイメージ
- ・女性の司厨員はいるか？…本日参加会社にはいないが、門戸を開いている会社はある



#### (生徒への質問) 挙手で回答

- ・就職で重要視することは？…休暇 5 名、給料 10 名、職場環境（食事・wi-fi）7 名
- ・船は好きか、船員になりたいか？10 名以上挙手

## 学校訪問報告書

訪問学校名	焼津水産高等学校
訪問年月日	平成30年7月12日 12:40～15:20
訪問者	平野取締役（昭和日タンマリタイム㈱）、山田総務部長（明和タンカー㈱）、新井船員課長（英雄海運㈱）、目次管理部長（事務局）
学校側面談者	千野教諭ほか
実施事項	(1)学校側懇談 (2)生徒全体説明 (3)個別企業面談

### 懇談・意見交換概要

（先生との懇談、及び全体説明）

- ・全国の水産校で生徒数最大約600名（内専攻科2年生14名、海洋科3年生40名）、全国有数の漁業基地であり漁業関係の就職は多い。
- ・専攻科2年生（デッキ8名、エンジン6名）は、漁船、フェリーへの就職希望。
- ・本科3年40名（デッキ20名、エンジン20名…内女子1名）に対し全体説明を実施。
- ・この後、希望生徒に個別企業懇談の予定を組んでいたためか、特段の質問もなく、当方から投げかけた質問への挙手回答結果
- ・就職希望…漁船11名、フェリー4名、RORO4名、クワ1名、貨物1名、タンカー4名
- ・会社選ぶ際の優先度…給料15名、休暇20名、船内食事3名



（個別就職懇談会）

- ・上記の後、タンカー、商船を希望する生徒が残り、参加3社の個別懇談会を開催。
- ・参加生徒11名（デッキ4名、エンジン7名…内女子1名）
- ・参加者全員が熱心に会社の内容、仕事の内容、労働条件等に関き入り、質問もかなり具体的な内容が出ていた。
- ・質問中、荷主、オペレーター、船員管理会社、オーナーの関係性が理解し辛い感じを得た。

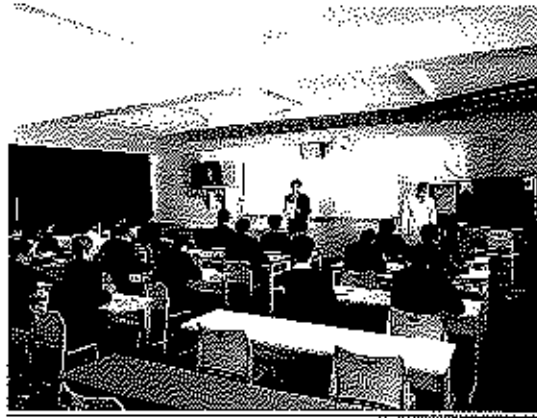


以上

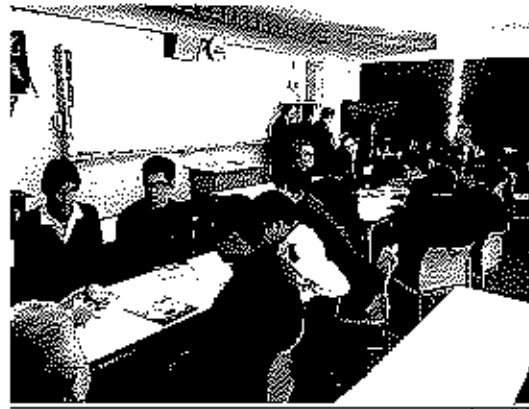


## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	愛知県立 三谷水産高等学校
訪問年月日	平成31年2月4日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	木村美幸(木村海運㈱) 磯合信之(三興海運㈱) 久保田繁信(㈱三洋海運商会) 笹木重雄(東幸海運㈱) 牧川正起 中村全志(知多港運㈱) 仲野光洋 東海支部 支部長(東栄運輸㈱) 高橋道男(東海支部 事務局長) 上村 良 (関西・粟槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	柿原教頭, 牧平進路指導, 早川先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>出前講座に先立ち、校長室にて柿原教頭、牧平進路指導教諭と本日参加の各会社訪問者との懇談を実施。</p> <p>先生から同校生徒の進路、就職状況、生徒たちの意識傾向等について意見交換を行った。その後、視聴覚室にて同校工学コース2年生19名に対し、仲野支部長挨拶の後、内タン作成のDVD「内航タンカーはいま、若い力を求めています」を上映、また、配布の内タンパンフレットをもとに、タンカーの職種、船員の仕事及び必要な海技資格の種類等について、説明を行った。その後、「船員希望」、「船員、陸上希望」、「陸上希望」の3グループに分け、各グループでのフリートークを実施した。</p> <p>各グループではそれぞれタンカー乗組員と他の船舶乗組員との給料の違い、内航船での必要な海技資格、船と陸上職員との給料、生活面での違い等質問があり、各説明を行った。なお、今年の就職率は船達含め100%とのことであった。</p>	



東海支部長による講座前の挨拶



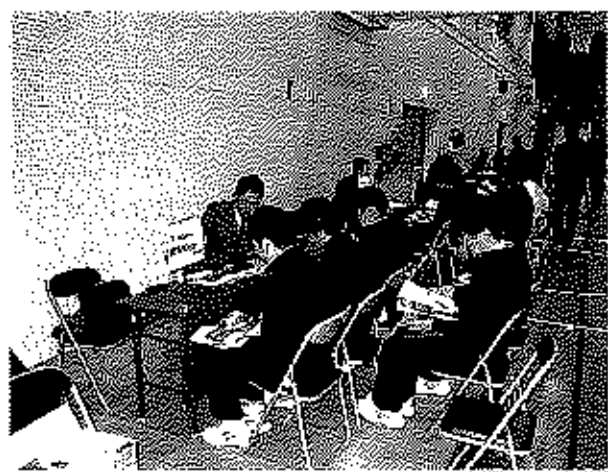
グループでのフリートーキングの様子

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	三重水産高等学校		
訪問年月日	平成30年1月16日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	東海支部 松浦一夫 (幸福船舶㈱) 仲野仁太 (東海タンカー・㈱) 高橋道男 (東海支部事務局長)		
学校側面談者 (氏名・役職)	内山進路指導ほか		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>今回は、中部運輸局が主催する「船員就業セミナー(企業説明会)」に合わせ内航タンカー海運組合から地元管内所在の2社が参加した。</p> <p>対象者は、同校 本科1年生39名、3年生8名、専攻科(1年6名、2年6名)計59名であり</p> <p>各船種のブースに生徒たちが6～7名のグループに分かれ、順番に各海運企業のブースを回り説明を受ける形で実施された。</p> <p>内タンのブースにおいては、内タン作成のパンフレットを生徒たちに配布の上、タンカー船員の仕事内容、内航船での必要な海技資格の種類とうの、説明を行った。</p> <p>又、生徒たちからはタンカーの荷役作業、平水船、沿海船の勤務体系の違い、船員と陸上勤務との給料面の違いなどの質問があった。</p>			



グループごとに分かれ生徒に説明



グループごとに分かれ生徒に説明

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	富山県立滑川高等学校
訪問年月日	平成30年 6月14日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之 (田淵海運㈱) 斎藤 雄一 (大光船舶㈱) 高佐 政人 (昭和日タンマリタイム㈱) 上村 良 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	澤田先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

### ◎先生との懇談

#### 澤田先生と懇談

現在小型船舶2級のみでの養成校である。

練習船が他県との合同でもいいので、何とかならないか。

海洋関係の教員が少ない、以前は東京海洋大学より、なんとか、派遣してもらっていたが、その対応も難しくなっており、非常に対応に苦慮している状況である。

生徒の問題としては、水産高校系から海技短大に進学すると水産高校時代の乗船履歴が換算されない状況で、何とかその履歴を海技短大の乗船履歴に加算できるようお願いしたい。等 説明を受けた。

### ◎出前授業

海洋科1年生 40名 3年生25名に対し、授業を実施、  
内タン作成のDVDより、

- ・船員の仕事
- ・タンカー船の仕事
- ・生活環境
- ・休暇サイクル
- ・資格取得について 等を説明。

### ◎滑川高等学校全体説明風景



## ◎グループトーク風景

全体説明の後、4グループに分けグループトークを実施



グループ別の質問内容について

Q.タンカーの休暇については、30日×3回＝90日しかないのですか。

A.一概ではない、当社（担当の会社）では、年間105日の休暇があります。

Q.124日休暇がある会社があると聞いたが本当ですか。

A.それはわからないフェリー関係では、あるかもしれないが、他社の事はよくわからないのが実情です。

Q.給料はどれくらいあるのですか。

A.これについてもまちまちで、一概には言えないが、当社は、手取り28万円くらいはあると思います。

乗船中と下船中では、手当てが違うので、若干の差はありますが、休暇中も給料は支給されます。

Q.乗船中の3か月間は、まったく休みがないのですか。

A.荷物が無い時など仮バースをとって休みを取ることがあります。

その時は、上陸し買い物に行くことができます。

その他

- ・タンカー船員の仕事内容について
- ・給料体系について
- ・病気した際の対応
- ・WiFi環境
- ・男女差はあるのか

等 数々の質問が出された。

以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	福井県立 若狭高等学校
訪問年月日	平成30年 7月19日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本清和 (商オリエントシップ) 木村美幸 (木村海運㈱) 武田勝博 (日栄タンカー㈱) 本多昭博 (国華産業㈱) 野間司 (㈱エスワイプロモーション) 牧川正起 (知多港運㈱) 上村良 (関西・榮槽船支部 事務局)
学校側面談者	福嶋校長、毛利先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>◎先生との懇談</p> <p>福嶋校長、毛利先生と懇談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校では、小型船舶1級の取得で、海技免状が無いので、船員になることが選択肢の中に入らないようである。</li> <li>・前年実施しているこの出前授業で、海技短大を目指す生徒が出ている。</li> <li>・船員の良さを説明願ひ、職業選択の一つと考える機会をお願いしたいとの要望あり。</li> <li>・内タン所属の各社にあっても、すべて船員採用ではなく、陸上勤務、小型船舶免許でも仕事ができる会社もあるとの内容を説明。</li> </ul> <p>◎生徒への出前授業 全体授業</p> <p>同校 海洋科学科2年生15名、3年生3名、保護者2名に対し、内タン作成のDVDを活用し、タンカー船員の仕事・休暇体制・仕事内容・労働環境などについて説明</p> <p>◎グループトーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生を2グループと3年生(3名)の3グループでグループトークを実施。</li> <li>・3年生は、3名との海技短大進学を希望。</li> <li>・2年生は、公務員希望5名 就職(職種未定)5名 未定5名</li> <li>・3年生の海技短大への進学希望者は、昨年度この出前授業で、船員になりたいと思って、進学希望とのこと。</li> </ul> <p>Q携帯電話など船内で繋がる環境なのか。</p> <p>Aほとんどの海域で、携帯はつながる。(ただし一部つながらない所もある)、現在WiFiを設置している船が多くなってきている</p> <p>Q休暇について</p> <p>A3か月乗船1か月休暇のサイクルを1年の中で3回転する。乗船中でも、荷物が無い状態のときには、岸壁につけて、休むことがある、また病気やけがなどの際は直ちに病院に行ける体制もあるし、いろいろな状況で、対応しています。</p> <p>Q給料について</p> <p>A休暇中も給料が支給されることは、DVDでも説明しましたが、乗船中よりも、若干手当てがなくなる分手取りは少なくなるが、陸上より、支出は抑えられる(食費・住居費・資格などの費用は、会社負担のため)と思われる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	京都府立 京都海洋高等学校
訪問年月日	平成30年 7月18日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本浩和 (㈱オリエントシップ) 木村美幸 (木村海運㈱) 武田勝博 (日栄タンカー㈱) 本多昭博 (国華産業㈱) 野間司・藤田航 (㈱エスワイプロモーション) 牧川正起 (知多港運㈱) 上村良 (関西・薬槽船支部 事務局)
学校側面談者 (氏名・役職)	高木先生 石川先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

### ◎先生との懇談

高木先生・石川先生と懇談

- ・本校の1年は岐阜・大阪・京都市内が多く、下宿している生徒(10名)が多い。
- ・ほぼ海技短大など進学をするように指導しているとの事。
- ・最近倍率が高くなってきて、まじめな生徒が増えているとのこと。
- ・懇談内容では、最近の生徒の考え方、進路状況、就職状況について報告を受け、先程の2年生の中には、父兄の考え方で、本校を志望した生徒が4名いる。
- ・進学希望が多いが、推薦枠があり、実力で行ってもらわなければならないのが、残念なところであるとの事。
- ・船社側として、どのような人材が必要か等の、海技免状が必要だが、会社によっては、総合物流の会社などがあり、船の知識がある人材が必要、また、協調性のある人材を希望するなど、情報交換を行った。



1/3



◎生徒への出前授業 全体授業

2年生14名に対し、内タン作成のDVDにて出前授業を実施。  
タンカー船員の仕事・休暇体制・仕事内容・労働環境などについて説明。



◎グループトークキング

3グループに分かれ、グループトークキングを実施。  
14名中 進学希望8名 漁船(跡継ぎ)2名 未定4名



Qタンカーとその他の船種の仕事内容の違いは？

A荷役作業が入ってくる。

Qタンカー船の賃金の違い

A荷役作業があるので、若干手当がつくので高くなる。

Q休暇サイクルは、どうなっているのですか

A先ほどの説明をしたが、3か月乗船(若干ずれがある)1か月休暇(年間105日)

Q給料体系は、

A乗船中と休暇中では、基本的に若干の差がある(手当の関係上)。会社によって違うが、平均で毎月同じような金額になるようしてもらえるところもある。陸上と比べるとかなり違うことは明確です。

Q航海当直時は、携帯電話の所持や使用については、

A航海当直時は、見張り業務が、最大の任務であるので、見張り以外の作業は厳禁です。

Q飲酒、喫煙について

A危険物を扱う作業のため、作業時、当直時には禁止、当直前には、アルコールチェッカーでチェックがある。喫煙場所が指定されているので、船内、積地、揚げ地の規則に従う。

Qタンカー乗船時に必要とされる資格は、

A航海士では、海技免状、無線従事者、甲種危険物取扱責任者等ある。学校で取得できる資格は、積極的に取り組み取得してもらいたい。



以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鳥取県立 境港総合技術高等学校
訪問年月日	平成30年12月21日 12:40～15:00
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之 (日新船舶㈱) 木村美幸 (木村海運㈱) 本多昭博 (国華産業㈱ 野間 司 (㈱エスワイプロモーション) 山口孝次 (本部事務局) 上村 良 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	小澤敏正校長、中尾浩進路指導主事(機械科)、 高石由紀子進路指導部(海洋科)
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談(3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>本校への学校訪問は今回が初回であった。</p> <p>懇談・出前授業内容は、別添。</p>	

## ◎出前授業

受講者：7名

(2年生5名、1年生2名で航海系4名、機関系3名)

学校側の説明によると今回はタンカー就職希望者のみを参加させたとのこと。

冒頭、内タン作成のDVDを放映、その後、北氏より補足説明を行った。

## ◎出前授業の様子



今回は、全体で質疑応答を実施。

### ◎生徒からの主な質問内容

Q 仕事内容について

Q 入社までに必要な資格は？ 取得しておいたほうがいい資格は？

Q W I F I 環境について (携帯の環境)、等

生徒からタンカーに乗船を希望するに至る動機及び背景について説明してもらった。  
親族がタンカー乗船中またはタンカーを勧められている生徒が複数いた。

### ◎参加者から

各社の採用状況など説明を実施。又、生徒が必要な情報については、内タンホームページを通じ、各社のホームページにリンクできる等、説明。関西支部・本部に問い合わせについても可能である旨説明。

## ◎先生との懇談

中尾先生と高石先生が参加

- ・本日の参加生徒はタンカー船員希望者のみ参加しているとの説明を受けた。  
参加者からは、進路の確定していない生徒にこそ内航タンカーを紹介したいので、次回の機会があれば是非とも多くの生徒に参加して欲しいとお願いした。
- ・本校は、海技士養成指定校では無いが、来年からはカリキュラム改変により機関も卒業後7カ月乗船経歴で6級海技士が取得できるようになる。  
現状、1級小型船舶・第2級海上特殊無線技士を取得できる。
- ・船員希望者については、4級相当の学力を授業並びに補習で教えているが、海技士養成指定校ではないので、船会社に就職したのちとなるので、理解の上お願いしたいとの事。
- ・タンカー関係は未だ無いが、他の船種では就職して3年以内の離職率が高い。
- ・就職した3割程度しか続いているのが実情。
- ・船内でのパワハラ・セクハラ問題について質問あり。
- ・生徒は、休暇ローテーションを確実にしてくれるところを好む傾向。
- ・船長が話やすい人、相談相手がいる船（先輩）等がある船が長く続いている。
- ・各社からは、陸上で、どれだけ若手船員のサポートができるかによって長続きする船員が増えるようなので、各種セミナー（パワハラ・セクハラの対応）等に積極的に参加し環境改善に努めている。また、船の幹部職員にも若手船員の対応方法等社内勉強会なども実施し、対応しているとの説明。

## ◎参加会社の感想

- ・本校は、5級4級の養成施設で無い為、船員を目指そうとする生徒は自ら勉強して資格を取ろうとしており、学校側も協力しており、生徒や学校もかなりの努力をしていると感じる。卒業すれば筆記免除の資格をもらえる生徒たちより、企業側（採用する側）から見ると生徒の持つ熱意から「見込みあり」という考え方もあるのかと感じた。
- ・4級5級の取得を考えると同時にまず6級も取得を目指してもらえれば近道かと思えます。

以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	島根県立 隠岐水産高等学校
訪問年月日	平成30年12月 5日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北雅之(田渕海運㈱) 木村美幸(木村海運㈱) 横田之雄(横田海運㈱) 宮津 昌伸(イイノガストランスポート㈱) 本多昭博(国華産業㈱) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	梶野先生 荒井先生 大門先生
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 ○(4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>学校訪問の前日 隠岐水産高等学校 梶野先生・荒井先生・大門先生と懇親会を実施、 懇親会の席上、現在の生徒の状況、進路希望等 どのように考えているのか、 また、水産高校の現状(本科と専攻科)について確認。</p> <p>船社側として、どのような人材が必要か。 必要な海技免状。 船の知識がある人材が必要、 協調性のある人材を希望するなど、情報交換を行った。</p>	

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	島根県立 隠岐水産高等学校
訪問年月日	平成30年12月 6日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北雅之(田渕海運㈱) 木村美幸(木村海運㈱) 横田之雄(横田海運㈱) 宮津 昌伸(イイノガストランスポート㈱) 本多昭博(国華産業㈱) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	梶野先生 荒井先生 岡先生・大谷先生・田部井先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談(4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>懇談・出前授業内容は、別添。</p>	

## ◎先生との懇談

梶野先生・荒井先生・岡先生・大谷先生・田部井先生と懇談

北委員長挨拶の後、懇談を実施。

本校の生徒の専攻科と本科生徒の進路状況等詳細に確認。

業界としては、タンカー船のみならず船員不足になっている旨説明、

タンカー会社に就職してもらいたい、とにかく船員になってもらいたいと説明。



学校側から

本校の専攻科では、ほぼ3級の取得、中には2級 1級取得者も出てきている、  
本科では、5級であるが、4級取得している。

船員希望がほとんどであるが、タンカー・貨物船 フェリー・ 漁船と多様である。  
水産高校の現状は、1校で練習船に乗船する職員及び教諭を確保することが難しく、  
1校で1隻の練習船も非常に難しいので何県の何校で1隻が普通になっており、調整  
が難しくなっている。

以前は外航・漁船経験者が内航に転職をしていて、水産高校へ直接求人あまり来て  
いなかったが、最近をよく求人があるのでありがたい。

## ◎出前授業

海洋テクノコース 2年生 航海12名・機関13名

1年生32名に対し、授業を実施、

内タン作成のパワーポイントに（DVDは授業にて活用で、数回見ている）より、

- ・船員の仕事
- ・タンカー船の仕事
- ・生活環境
- ・休暇サイクル
- ・資格取得について 等を説明。

## ◎隠岐水産高等学校全体説明風景



## ◎グループトークキング風景

全体説明の後、4グループ(2年生航海・機関・1年生航海希望と機関希望)に分けグループトークキングを実施

○2年生 機関



○2年生 航海



○1年生 甲板希望



○1年生 機関希望



### グループ別の質問内容について

- Q船員の給与について(陸上との差・業務に対する対価)?
- Q船員の休暇について?
- Q長期休暇の魅力は?
- Q乗船中の休みについて(船種別の仮パースの有無等)
- Q機関部の仕事(荷役中・機関当直MO有無)について
- Q司厨部の有無について
- Q福利厚生(WIFI環境等)について
- Q求められる人材について(挨拶・時間厳守等)
- Q船酔いについて
- Q長時間労働・長期乗船等ブラックなことはあるのか?
- Q火災・爆発時の安全設備や基準はあるのか。
- Qパワハラ・ほかのハラスメント対策はされているのか。
- Q乗船中 機関部であってもタンククリーニング作業はあるのですか。

上記のような質問が出され、各グループで、それぞれ回答がなされていた。  
又 総合的に下記の内容について追加説明されていた。

○海運業の必要性について(タンカーは色々な製品の原料を運んでいる)

以上



## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	山口県立大津緑洋高等学校
訪問年月日	平成 31 年 1 月 17 日 (木) 13:30~15:30
訪問者	中林 (西部支部事務局長)
学校側	松本副校長、中澤教頭、高田主任、来島教諭、石本教諭
実施事項	① 先生との懇談 ② 生徒出前授業 (1年生 23名 (女子1名))

### 懇談・意見交換概要

#### 先生との懇談概要



#### ○学校の現況説明 (求人状況、進路状況等)

- ・本校は水産高校でありほとんどの卒業生は漁業関係の会社に就職している。
- ・入学者は地元の漁業関係者が多数を占めているおり、学校としては水産関係の会社を紹介しているのが現状である。
- ・海運会社関係では最近では年に1名位就職している。
- ・本日タンカーの概況、現況の説明を聞いて勉強になった。今後はタンカーの会社についても斡旋をしていく。

#### ○内航タンカーの現況を資料説明

- ・内航タンカー海運組合の概況及び内航タンカーの現況を説明

#### 生徒との懇談概要

○訪問の趣旨、内航タンカーの役割、活動、設備等 (DVD、パンフレット) の説明の後、1年生が対象のため授業形式とし、過去の学校訪問における他校の生徒による質問事項の紹介と回答を説明した。

主に石油業界の現状説明、船内でのコミュニケーション、甲板員から甲板手に昇格した時の達成感、タンカー船での仕事のやりがい、船内はテレビ、ワイファイ等の機器が充実しており航海中も娯楽を楽しむことができるので心配する必要はないこと。他の会社と比べて給料が多いこと、1か月間の休暇の過ごし方、また学生時代に生活を楽しむこと。危険物を運搬しているので就職してから勉強することが多くあるが心配することはないこと等具体例を挙げての説明をした。



## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	香川県立 多度津高等学校
訪問年月日	平成30年12月11日
訪問者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	川橋利明 (甲子汽船㈱) 斎藤雄一 (大光船舶㈱) 横山之雄 (横田海運㈱) 宮津 昌伸 (イイノガストランスポート㈱) 宮政 彰 (浅川汽船㈱) 真木真一・三宅 勝 (青野海運㈱) 尾崎 史・都築正雄 (宮崎海運㈱) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	村上先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談(3)個別就職相談 (4)懇親会

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

懇談・出前授業内容

### ◎出前授業

海洋技術科 2年生 25名  
内タン作成のDVDより、説明。  
また、斎藤氏より、船員になるための内容について補足説明。

### ◎多度津高等学校の全体説明風景



### ◎グループトークキング風景

全体説明の後、3グループに分けグループトークキングを実施



## グループ別の質問内容について

- Q 1日の労働時間は？（基本8時間+時間外）
- Q 何人部屋ですか？
- Q 給与は？（休暇中はどのようになるの？）
- Q 入社までに必要な資格は？ 取得しておいたほうがいい資格は？
- Q 停泊中の自由時間はあるのですか？
- Q 仕事のやりがいは？
- Q W I F I 環境について
- Q 船員さんの仕事って楽しい？
- Q 船で病気・けがをした時の対応は、⇒（船員保険または、療養保証を受けることができる。）
- Q 通勤可能な船舶は？⇒ 平水船の バンカー船（大阪・東京・名古屋等）
- Q 資格（海技資格・危険物等取扱責任者について⇒乗船履歴で資格取得を進めた。危険物等取扱責任者については各社で違う。
- Q 仮バースのつける頻度？⇒各社運航体系によるが3日に1度程度
- Q 結婚や恋愛について⇒可能（努力次第）
- Q 採用後の職員への登用の有無
- Q 船内で体調不良になったら？⇒船内で休養。

上記のような質問が出され、各グループで、それぞれ回答がなされていた。

## ◎先生との懇談

村上先生と懇談



本校の生徒の専攻科と本科生徒の進路状況等詳細に確認。

- 漁船船員も船員不足になっているが学校に対応をしてほしい等要請があるか？  
当学校にはあまりないが、漁船希望者は、毎年1～2名あるような状況。
- 入学状況は、どうですか？  
水産科の定員は、30名 それに対し、倍率1.5倍～2倍 最近は、定員割れが無い状況
- 教える先生の問題  
教員不足が非常に深刻な状況。



本科3年生で、航海1名・機関1名が就職未決定との事で、個別相談にて対応。

以上

## 学校訪問報告書

訪問学校名	愛媛県立宇和島水産高校																				
訪問日	平成30年11月30日(金) 13:30～15:15																				
訪問者	山本汽船㈱外11社(別紙名簿のとおり) ※内タン事業者数																				
学校側	海洋技術課長 揚村勝幸、教諭 遠矢新一郎ほか7名																				
実施事項	内航海運説明会																				
説明会等																					
<p>四国運輸局及び愛媛地方内航船員対策連絡協議会主催による内航海運説明会を宇和島水産高校で実施した。参加事業者は内タン四国支部から12事業者、全内船四国支部から2社、愛媛地区海運組合から1社、旅客船事業者2社の計17社で、四国運輸局の説明後、宇和島水産校生が2～3人ずつ、各事業者のブース(四国運輸局も含む)を15分ずつ3～4ヶ所回り、個別の説明を受けた。</p> <p>宇和島水産高校では学校行事の関係から今治の海事セミナーにも長い間参加しておらず、詳細な話しが聞け、生徒だけでなく先生方にも初めての良い経験となったようである。</p>																					
<p>参加学生</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">本科</td> <td style="padding-right: 20px;">1年生</td> <td style="padding-right: 20px;">14名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2年生</td> <td>15名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>3年生</td> <td>8名</td> <td>専攻科進学予定者</td> </tr> <tr> <td>専攻科</td> <td>1年生</td> <td>10名</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td>47名</td> </tr> </table>		本科	1年生	14名			2年生	15名			3年生	8名	専攻科進学予定者	専攻科	1年生	10名				計	47名
本科	1年生	14名																			
	2年生	15名																			
	3年生	8名	専攻科進学予定者																		
専攻科	1年生	10名																			
		計	47名																		
<p>四国運輸局出席者</p> <p style="margin-left: 40px;">弘内船員労政課長    多田船員労政課専門官 宇和島海事事務所佐伯次長</p>																					
以上																					

## 参加事業者

参加事業者名	所在地	所属	人数
① 山本汽船株式会社	松山市	内タン四国支部	2
② 三鳳汽船株式会社	今治市波方	〃	1
③ 進宏海運株式会社	今治市波方	全内船四国支部	1
④ 東汽船株式会社	今治市	内タン四国支部	1
⑤ 日本ガスライン株式会社	松山市	〃	2
⑥ 住鉱物流株式会社	新居浜市	愛媛地区海運組合	2
⑦ 興栄海運株式会社	松山市	内タン四国支部	1
⑧ 青野海運株式会社	新居浜市	〃 ・愛媛地区	2
⑨ 宮崎海運株式会社	今治市	内タン四国支部	2
⑩ 浅川汽船株式会社	今治市	〃	2
⑪ 太西海運株式会社	松山市	〃 ・全内船四国支部	2
⑫ 金力汽船株式会社	今治市伯方	内タン四国支部	1
⑬ 藤井綱海運株式会社	今治市伯方	〃	1
⑭ 如月汽船株式会社	今治市伯方	〃	2
⑮ 宇和島運輸株式会社	八幡浜市	愛媛旅客船協会	3
⑯ 石崎汽船株式会社	松山市	〃	2
⑰ 誠洋汽船株式会社	今治菊間	全内船四国支部	1

本部船員対策委員 庭瀬委員

内タン四国支部事務局 近藤、渡部



# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	高知県立 高知海洋高等学校
訪問年月日	平成30年12月12日
訪問者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	川橋利明 (甲子汽船㈱) 平野雅弘 (昭和日タンマリタイム㈱) 横田之雄 (横田海運㈱) 宮津 昌伸 (イイノガストランスポート㈱) 宮政 彰 (浅川汽船㈱) 真木真一・三宅 勝 (青野海運㈱) 尾崎 史・都築正雄 (宮崎海運㈱) 上村 良 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	小豆先生 武中先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談(3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>懇談・出前授業内容</p> <p>◎先生との懇談</p> <p>小豆先生 (航海) と武中先生 (機関) 懇談          本日の参加生徒の説明を受けた。          2年生20名 航海 10名 (航海6 マリン4)                                  機関 9名 (機関5 海洋機器4)          3年生専攻科進学志望者5名 合計 24名</p> <p>○航海・機関については 海技資格 5級筆記免除          マリン・海洋機器については、3か月乗船履歴あり (2年生にときに3か月乗船)          当校は 就職に対する意識付けをしているとのこと。          ロングホームルームで、就職している卒業生を招き、就職後の話を生徒に向け          お願いしている。          寮完備の学校が少ないので、県外からの入学者も増えてきている。</p> <p>○先生との懇談風景</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>◎出前授業</p> <p>2年生20名 航海 10名 (航海6 マリン4)                                  機関 9名 (機関5 海洋機器4)          3年生専攻科進学志望者 5名 合計 24名          内タン作成のDVDより、説明。          また、宮津氏より、補足説明。</p>	

## ◎出前授業の全体説明風景



## ◎グループトークキングの風景

全体説明の後、3グループに分けグループトークキングを実施

○2年生（航海）



○2年生（機関）



○3年生（専攻科進学希望者）



## ◎グループ別の質問内容について

Q 船の食事は美味しい？

Q 仕事は楽しい？

Q 給与は？（初任給は？陸上との差は？）⇒陸上を1としたら1.5くらい。

Q 入社までに必要な資格は？ 取得しておいたほうが良い資格は？

Q 船の仕事で大変だったことは？

Q 任意保険に入ったほうが良いのですか？

Q W I F I 環境について（携帯の環境）

Q 台風の際は揺れますか？⇒無理をせず避難します。

Q 横揺れ防止装置はついているの？⇒タンカーはついていない。

多少荒天でも航海はするが、船長判断で避難する

Q 通勤可能な船舶は？⇒平水船のパンカー船（大阪・東京・名古屋等）

Q 危険物等取扱責任者とか必要か？⇒特に必要ないが、知識は大事。

上記のような質問が出され、各グループで、それぞれ回答がなされていた。

以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	大分県立海洋科学高等学校
訪問年月日	平成30年11月27日(火) 10:00~11:00
訪問者	野間(エスワイプロモーション)、本多(国華産業)、中林(西部支部)
学校側	堀江校長、井餘田進路指導主任、保毛津教諭
実施事項	先生との懇談
懇談・意見交換概要	
先生との懇談概要	
※学校側	
○大分校の現況・パンフレットによる現況説明(生徒数、求人状況、進路状況等)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人、進路状況：求人については年々多くなっている。</li> <li>・タンカー船関係進路は、29年度は4人、30年度は4人、31年度は3人(内女子2名)予定。</li> <li>・本日訪問のエスワイ様には本年2月に大分港において単独で訪船実習をさせていただいた。この時は、学校から生徒、先生がバスに乗車して大分港に入港のタンカー船まで出向いての出前授業を実施した。</li> </ul>	
※内タン組合側	
○内航タンカーの現況を「平成30年度内航タンカーの現況」により説明	
○訪問の趣旨、内航タンカーの役割、活動、設備等をパンフレットにより説明	
※出席各社の紹介及び意見交換	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2社からそれぞれ会社のパンフレットによるPR、現況、生徒の募集依頼。</li> <li>・2社共以前から当校との付き合いがあり活発な意見交換。</li> <li>・入社後10H間に所有船の見学、船員とのコミュニケーションの取り方等の具体的な実態説明。</li> <li>・女子の船員採用方法、当校の食品コース卒業生の採用について具体的な処遇。</li> <li>・訪問の事前配布を行った視聴用DVD、パンフレット(懇談生徒の部数配布)の活用方法について依頼。</li> <li>・大分校は年2回(6月、12月)就業フェア学習を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>6月は全海運、フェリー会社、貨物船会社の3社によるイベント。</li> <li>12月は全海運、タンカー会社によるイベント。</li> </ul> </li> <li>・単独による訪船出前授業について、学校訪問のあり方として1社だけの訪船実習だけではなく大分港の近隣に会場を設営してそこに内タン船社を募集しての生徒との懇談も考えられるのでその出前授業の事前連絡を依頼した。</li> </ul>	





## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	宮崎海洋高等学校
訪問年月日	平成30年 6月19日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	木村美幸(木村海運㈱) 齊藤雄一(大光船舶㈱) 山田智昭(明和タンカー㈱) 土井秀嗣(三興運油㈱) 平野雅弘(昭和日タンマリタイム㈱) 上村 良(関西・薬船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	先生との懇談については、企業及び学校参加者多数の為、 実施せず
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

同校就職ガイダンスに参加し、生徒に対し、出前授業を実施。

当日は、作業船の三国屋建設㈱と同じ教室で、合同で実施することとなった。

内航希望者 23名に対し、内タン作成のDVDにて、船員の仕事、船員の仕事内容、今後の学生生活の過ごし方などについて説明。

◎宮崎海洋全体への説明風景



全体の説明の後、4グループ（1グループは三国屋建設㈱が担当）に分かれグループトークを実施。

グループトークでは、時間を設けて、説明者が、4グループを順次回り（作業船の会社が同席のため）説明することとした。

基本的に生徒からの質問が皆無の状態であった。

各ブース担当者が、油種の別の船の内容等詳細に説明を実施。

どのような船種希望なのか、海上、陸上の勤務希望なのか、各々の生徒に確認する等努力していただいた状態。

同校生徒の大半が、3か月乗船の1か月休暇のサイクルは、気にならないようであった。また、船員に必要な資格などについては、極力とるように、又、同校4級養成校であるので、それを生かせる仕事について欲しいと説明。

#### ◎グループトーク風景



フリートーク終了後、生徒に現在における船種の希望を確認した結果。

タンカー希望 航海4名 機関4名

貨物船 航海3名 機関3名

フェリー航海1名 機関3名

その他航海4名 機関1名という内容であった。

今回、3年生については県民性なのか、おとなしい印象を受けた。

以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鹿児島水産高等学校
訪問年月日	平成 30 年 12 月 13 日 (木) 10:30~15:40
訪問者	木下・花田 (鶴見サンマリン)、山田 (明和海運)、平野 (昭和日タン)、桐山・立石 (上野トランス)、本田 (国華産業)、杉山 (イイノガス)、多田・新井 (英雄海運)、中林 (西部支部)
学校側	中山進路指導主任、川添教諭、徳満教諭、前山教諭
実施事項	①先生との懇談②生徒全体説明 (2 年生 26 名, (女子 3 名)1 年生 19 名, 3 年生 6 名)
懇談・意見交換概要	
先生との懇談概要 (10:50~11:40)	
<p>○鹿児島校の現況・資料による現況説明 (入試状況、生徒数、求人状況、進路状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路状況：最近は漁業関係に増加傾向 (漁業関係の危機感からガイダンス訪問が増加)</li> <li>・就職地域：卒業生 93 人 (進学 39 人、就職 54 人 (県外 31 人、県内 23 人))</li> </ul> <p>○内航タンカーの現況を資料による説明 (船齢、船員の高齢化)</p> <p>○懇談内容</p> <p>学校側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内航タンカー業界の将来像は？ 今後 10 年間は船舶の近代化、自動化が進んで行く。</li> <li>・女子の就職についてアドバイスを？ 最近女子の就職が増加の傾向にある。船は個室、トイレや洗濯機は専用で不自由はない。また、女性船員のための船もあり希望者が増えている。</li> </ul> <p>船社側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人教育として 1 週間から 10 日間での予備的な乗組み、陸上員も経験させている。</li> <li>・各学校近くの港湾に船を入港させて入社前にインターシップを行っている。旅費は会社持ち。</li> <li>・船員不足で時々他社から回してもらっている。費用が多額となるので一人でも多くの学生を採用したい。</li> <li>・ケミカルタンカーの乗船経験者はどの船に乗っても通用する。</li> </ul>	
生徒との懇談概要 (11:50~12:40) 2 年生 26 人	
<p>○訪問の趣旨、内航タンカーの役割、活動、設備等 (DVD、パンフレット) の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内航タンカーの DVD での説明</li> <li>・パンフレットを使用した説明</li> </ul> <p>○出席各社の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社から自己紹介と会社説明</li> </ul> <p>○生徒との懇談会での質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内航タンカーは危険物を選んでいるが学生で資格を取る必要があるか？ 就職してから取得するので必要ない。最初から難しい仕事に取り組むことはない、少しずつレベルアップすればよい。</li> <li>・荷役に立ち会うと聞いたが時間は長いのか？ 船舶の大小で荷役ポンプ能力に差があり、また陸上側の受け入れ能力に違いがあるので一定しない。</li> <li>・長時間勤務と聞いたが勤務時間は？ 航海する時は当直を組んでおり通常は 4 時間当直で交代している。普通は合計すると 8 時間勤務である。また、荷役は岸壁に着岸して行うので、荷役終了後、次の出航時間まで上陸できることもある。</li> </ul>	

港路ガイダンス (14:45～15:40)

2ブースに分け、前半20分(2年生)、後半20分(1年生、3年生(希望者))の入れ換え

○船社側からの企業説明

・所属タンカーの現状及び会社の取り組み説明。

○生徒からの質問

・外国人の就職が問題となっているが採用するのか? 内航タンカー船は採用していない。大型の外航船は外国人の乗り組みがある。

・内航タンカーは長期間の航海があるのか? パンフレットに記載されているように1日、2日が普通である。

・4級の筆記を持って卒業するが就職してから口述試験の日や上級の免状を取得するのに休暇は取れるのか? 問題ない。会社としては上級の免状を取得することに応援している。

・乗下船はどうなるのか? 会社からの指示で休暇の取得のために日本全国の港湾で乗下船する。その時の交通費等は会社が負担するので安心すること。

・女性の採用は多いのか? 最近増加しており船内環境は充実している。2人採用しているが1人は陸上勤務でアドバイザーとして活躍している。

○生徒への質問事項

・会社を選択するうえで、給料が多い方が良い、休暇が多い方が良い、賄は好きかについて手を挙げて答えさせると? 休暇が大多数、次に給料、賄は嫌だとある。

・1年生のブースではあまり質問がないのでパンフレットを活用しての講義をした。



## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	壬寺工業高等高校
訪問年月日	平成30年 6月 5日
訪問者 (氏名・社名・役職・別紙添付も可)	夏本清和 (㈱オリオンシップ) 武田勝博 (日栄タンカー㈱) 上村 良関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	松本先生 進路指導部長
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会

### 懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

同校 「いつでもナビ」で、内タンブース設置を要望され、参加。  
参加したところは、大学4ブース、ホンダ・日産の車の整備士養成専門学校、奈良工業高等専門学校、奈良仕事センター (県内就職紹介機関) 等が参加。

内タンブースでは、内タン作成のDVDを常時流しながら、ブースに参加した生徒に対し、パンフレットを渡し、船員の仕事について説明。  
特にタンカーの船員になってもらいたいとアピールした。  
しかし、本校卒業をしてすぐに就職しても海技免状が無いので、就職が難しいことから、海技短大への進学を勧める方向での説明を実施。

当日の参加者は、機械コース 4名。(3年1名。2年2名。1年1名)  
個別対応で、説明を行い、質問などは、

Q 給料はどれぐらいあるのか。

A 今日ほかのブースに展示されているGTRを見てどう思ったか。との質問をし、  
GTRに乗りたいのなら、船員になるほうが、早い段階で、乗れるぐらいの給料がもらえる。と説明。

Q 仕事内容はどうか、また、仕事はきつい。

A 船員にしる、陸上の仕事にしる、どのような仕事でも慣れるまでは、きついと感じると思われる、船員の仕事内容については、タンカー船は、運航だけでなく荷役作業も仕事に含まれるので、少し厳しいかもしれない、その分給料がいいと説明。

Q 船員になるために必要な資格は。

A 船員に必要な資格はあるが、本校を卒業後、海技短大に行って取得するのが近道だとの説明。

### ◎壬寺工業高校 ブースでの説明風景



以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	富山高等専門学校
訪問年月日	平成30年 6月14日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之 (田辺海運㈱) 斎藤雄一 (大光船舶㈱) 佐藤智通 (明和タンカー㈱) 桐山和広 (上野トランスジェック㈱) 高佐政人 (昭和日タンマリタイム㈱) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	中谷教授 笹谷教授 河合先生 山本先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>◎先生方との懇談</p> <p>中谷教授、笹谷教授、河合先生、山本先生と懇談、 現在の5年生は、40名中 船員希望20 進学10 陸上10で、カリキュラムの 関係上来年の9月卒業(5年6ヶ月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船員希望の大半は、内航外航を問わず、大きい船会社希望が大半。</li> <li>・乗船実習の練習船の乗船時に、他校の生徒と仲良くなり、情報の共有 (面接した会社の内容等)が進んでいる。</li> <li>・同校での学んだ知識を生かせる職業につきたいと考える生徒が増えた。</li> <li>・陸上希望者も船会社希望が多い。</li> <li>・一人採用されると、その情報が回り受験者が増える傾向にあると思われる。</li> <li>・5年生には、会社訪問を積極的に行うよう指導している。</li> <li>・現在の4年生は、まだ就職観が全くないのが実情、8・9月のインターンシップ後、 考えるのではないかと考える。</li> </ul> <p>◎生徒への出前授業</p> <p>生徒への出前授業は、希望者のみの参加。</p> <p>5年生航海4名機関2名 4年生航海2名 3年生機関3名(合計11名)が受講</p>	
1/2	

## ◎出前授業風景



質疑応答では、数々の質問がなされた。

Q.給与体系及び採用当初から陸上勤務は可能か。

A.給与体系は、陸上採用と海上採用とでは、面接担当自体違う部署であるし、給与体系も全く違う。最初から陸上採用は可能であるが、厳しい一面もある。

Q.女性船員の採用状況について

A.現状女性船員を採用しないという訳ではない、既存船については、女性のための設備が整っていないのが実情で、男女間で、お互い配慮が必要とされると思われる。

現在でも、積極的に女性船員を採用しているところもあるので、ホームページ等で、情報収集願いたい。

また、新造船建造時には、その点、女性船員の居住区にお風呂を設置するなど考慮しなければならない状況にはなっている。

Q.特にタンカーの仕事内容について（他船からタンカーに職種変更は可能か。）

A.職種変更は可能であるが、一般的にタンカーから他船の転職は、たやすいが、逆については、タンカー船は、かなり安全基準が厳しく、資格等の問題も関係し難しい、かなりの努力（勉強）が必要。

Q.船員の資格などについて

A.現在本校で取得できるすべてのものは、将来的に役に立つものなので、取得するべきで、英語力も内航に限っては、特別なものとして必要ないが、メジャー検船等に役立つことは確実。陸上勤務であればなおのこと。 (以上)

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鳥羽商船高等専門学校
訪問年月日	平成30年 6月 4日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北雅之(日新船舶㈱) 笹木重雄(東幸海運㈱) 及川正文(上野トランステック) 重信周平(日本ガスライン㈱) 佐藤智通(明和タンカー㈱) 竹駒勇治(昭和日タンマリタイム㈱) 上村良(事務局)
学校側面談者 (氏名・役職)	伊藤友仁 教授
実施事項(○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会

### 懇談・意見交換概要(別紙添付も可)

- ・ 出前授業の前に伊藤教授と懇談を実施。
- ・ 同校の就職状況や生徒の意識傾向並びに生徒の状況について確認。  
現在の5年生は、 航海14名(女子1名) 外航希望が5~6名、内航希望 8名。  
機関19名(女子1名) 外航希望が5~6名、内航希望 13名。
- ・ 来年の卒業生は合計33名で、すべて海上希望(船種未定)で、現状陸上希望はいない状況であるが、来年の9月卒業となることから、生徒それぞれがのんびりしており、さして会社訪問もしていないのが、実情だそうです。しかし、大手フェリー会社がすでに内定を出されているところもあるので、生徒には積極的に会社訪問等、就職活動をするよう指導しているとのこと。
- ・ 最近の学生の特徴としては、メンタル面が非常に弱いので、企業各社はその辺を十分見極めていただいたうえで、採用いただきたいとのこと。
- ・ 懇談の後、5年生の希望者16名(航海6名 機関10名)に対し、出前授業を実施。  
内タン作成のDVDを活用し、タンカー船員の仕事内容等について説明。



◎富山DVDでの説明風景

- ・ 説明の後、グループ分けをし、グループでのフリートーキングを実施。  
グループ分けは、タンカー希望者6 ((航海)1・(機関)5)  
その他の船種10 ((航海)5・(機関)5)  
2グループに分けそれぞれ、フリートーキングにて生徒と個別にミーティングを実施した。



### グループミーティングでの内容

Qタンカーの危険物の資格は陸上資格（乙種）でよいのか。

Aタンカーには甲種危険物等取扱責任者の資格があり、一航、一機以上の職種で必要となるが、大概の会社は会社負担で資格を取得させているので学生の時に取得しなくても、採用されてから会社で取得可能。

Qタンカー船員のやりがいとは何か。

Aエネルギー物流に担っているという責任感であると思われる。

Qタンカーでつらかった仕事は、何か。

Aタンカー船に限定して特別つらい仕事はない。どの船種（仕事）に限らず仕事内容や職場環境・人間関係に慣れるまでの間がつらいと思われる。

Q船員が、陸上勤務することはあるのか。又その際はどのような仕事内容か。

A陸上勤務になることもありうる。甲板部では、陸上の安全部門や海務部門関係の仕事が多い、機関部では、工務部門関係の仕事が多いと思われる。

Q職員に昇進できるまでの勤続年数は。

A会社により異なると思われる。会社によっては、職員採用のところもあるが、部員採用のところもある。タンカー会社では部員採用が多い。勤続年数については、各社まちまちであるが、概ね3~5年程度と思われる。しかし、個人能力差あると思われるので、勤続年数というより、重要なのは現場でのその人個人の能力（評価）とその時点でのその船の職員数にも、関係してくると思われる。

Q機関部の人員構成は、どうか。

A小型船であれば2名、大型船であれば3名程度。

Qタンカー船は、乗船も長く、3か月乗船の1か月休暇とされているが、3か月以上乗船させられると聞いたことがあり、ブラックきぎょうとのイメージがあるがその点はどうか。

A交代要員の関係上若干過ぎることはあるが、その際は、事前に当該者と相談を行うので、一方的なことはないのでは心配はないと思われる。

Qタンカー手当や、危険物手当、等各種手当はどの程度もらえるのか。

A各社とその人の職種によってまちまちで、一概にいくらという金額表示は出来ない。

Qある記事で、AIによる、無人化船ができると聞いたのですが、将来どのようになるか。

A確かにそのようなことは我々も聞き及ぶが、外航のように数日間景色が変わらないような外洋での対応は可能であると思われるが、内航であれば、一部の地域のみで、瀬戸内や狭水道では、やはり人的な操船が必要と考えるので、船員の仕事がなくなることはないと思う。



©富山グループトーク風景

◎船会社からの生徒（タンカー希望の6名に対し）への質問。

Q就職にあたって会社に求める条件で大事なものは、

A 給料3名。休暇1名。労働環境1名。給与と休暇両方1名。

Qすでに採用試験を受けた。

A 受験経験あり 3名。

◎船社からのアドバイス。

○コミュニケーション能力の重要性について。

○タンカーの船種として、ガス船・ケミカル船・石油船の違いを説明。

○船種毎の業務内容・仮パースの頻度等を説明。



◎富山グループトークキング風景

以上

## 学校訪問報告書

訪問学校名	弓削商船高等専門学校		
訪問日	平成30年11月12日		
訪問者	山本汽船㈱山本社長外10名（別紙名簿のとおり）		
学校面談者	井瀬 潔校長ほか6名の先生		
実施事項	先生方との意見交換会、商船学科3年の生徒34名への説明・質疑		
説明会等	<p>弓削商船高専の第一会議室において、弓削商船の先生方7名と意見交換会を実施した。山本四国支部長及び井瀬校長の挨拶のあと、各出席者の自己紹介を行い、そのあと当方からは内航タンカーの現況の説明を行い、学校からは30年度卒業者の就職先状況等の説明があり、その後意見交換を行った。</p> <p>（意見交換の内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船員の高齢化の理由。</li> <li>・船員の養成施設が多いのか、少ないのか、水産高校へのバックアップ等、戦略は？</li> <li>・就職先、インターンシップは、先輩が行っているところに集中している。</li> <li>・内航船の大型化。</li> </ul> <p>そのあと、場所をアッセンブリーホールに移動し、商船学科3年生34名に対して、各事業者の自己紹介、DVD「内航タンカーはいま、若い力を求めています。」を上映、そして生徒のいくつかの質問を事業者が回答して終了しました。なお、最初に内航タンカーも就職先の候補にあるかないかと質問したところ、5名程度の生徒があるとの回答でしたが、説明終了後再度同じ質問をしたところ約8名が挙手しました。</p> <p>（質問内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケミカル船に乗る場合、在学中に重点的に追加的にやっておくべきことは。</li> <li>・内航タンカーは1日に何回入出港がありますか。</li> <li>・SESは内航タンカーではどのくらいありますか。</li> <li>・外国人船員受け入れについての動きは。</li> <li>・タンカーは危険なので、給料はどうなっていますか。</li> <li>・タンカーに対するイメージは？ → 給料は良いがしんどい。寝る時間が少ない。</li> <li>・制裁等による石油価格の変動が内航タンカーに及ぼす影響。</li> <li>・関空の衝突などがあり、キャプテンとの意思疎通ができない場合、上の人とうまくいかない場合、会社に相談出来るのか。</li> <li>・何年で士官になれるか。内航船員の住居はどこでも良いのか。</li> </ul> <p>以上</p>		

別紙

学校訪問参加者名簿

会社名	役職	氏名	所在地	備考
山本汽船㈱	社長	山本 宗宏	松山市	四国支部長
昭和ロタンマリタイム㈱	常務取締役	中村 正信	東京都	
上野トランスティック㈱	海務部部长	桐山 和広	〃	
〃	海務部課長	及川 正文	〃	
国華産業㈱	スーパーバイザー	本多 昭博	〃	
日本ガスライン㈱	常務取締役	木下 一延	松山市	
〃	船舶部主任	岡本 勝広	〃	
三ツ浜汽船㈱		渡部 徹	〃	
〃	総務部	藤岡 良孝	〃	
明和タンカー㈱	総務部長	山田 智昭	東京都	
有洋海運㈱	社長	馬越 英一郎	今治市	

事務方 四国支部事務局長 近藤伸弥



先生方との情報交換



学生への事業者自己紹介



山本支部長、井瀬校長挨拶